平成 30 年国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会
次　第

日　時　　平成 31 年 1 月 30 日（水）13 時 30 分から 15 時 00 分

会　場　　霧島市役所別館４階　大会議室
（鹿児島県霧島市国分中央三丁目 45-1）

１．　開　会

２．　議　事

議題１　地域協議会設置要綱の改正について

議題２　国立公園満喫プロジェクトの中間評価及び今後の進め方について

議題３　ステップアッププログラムの改訂について

議題４　その他

３．　閉　会

配付資料一覧

次第、座席表、出席者名簿

資料１　　国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会設置要綱（改正案）

資料２　　「国立公園満喫プロジェクト」に関する中間評価及び今後の進め方

資料３－１「今後の進め方」の基本的な視点に沿った主な成果例

資料３－２ステップアッププログラム 2020 改訂のポイント

資料４　　霧島錦江湾ステップアッププログラム 2020（改訂案）

参考資料１　　霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクトに関するこれまでの経緯

参考資料２　　日本の国立公園コンテンツ集（霧島錦江湾部分抜粋）

参考資料３　　KIRISHIMA EXPERIENCE BUS の実証運行（結果速報）

参考資料４　　平成 31 年度環境省予算案の概要

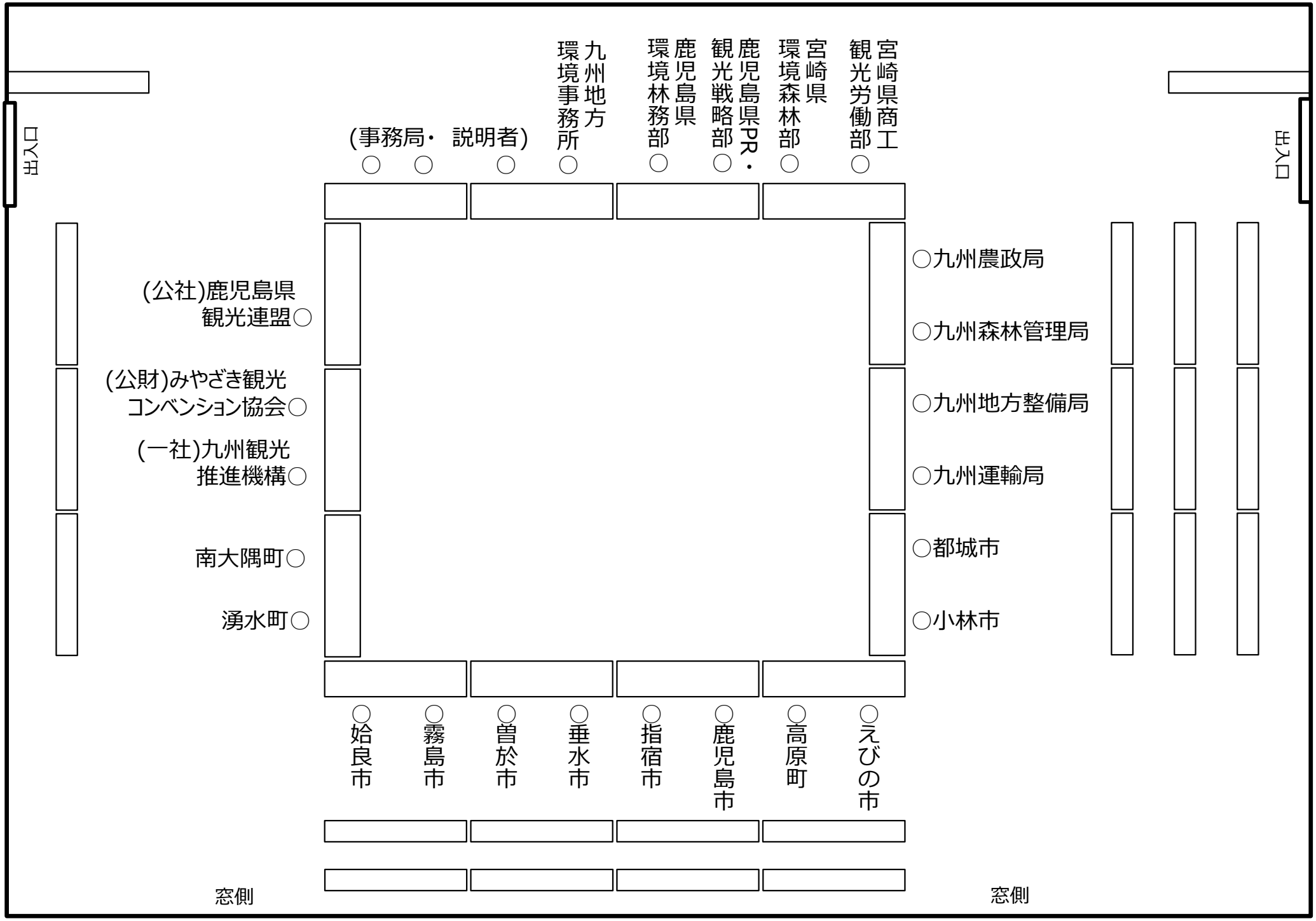
平成30年度　国立公園満喫プロジェクト　霧島錦江湾地域協議会　出席者名簿

構成員				備考
	所属	役職名	氏名	
国	九州農政局	農村振興部農村計画課長	松澤　智亮	代理
	九州森林管理局	計画保全部保全課長	矢島　欣也	代理
	九州地方整備局	事業調整官	堀　康夫	代理
	九州運輸局	観光部長	宇都宮　博文	
	九州地方環境事務所	九州地方環境事務所長	岡本　光之	
県	宮崎県	環境森林部長	甲斐　正文	
		商工観光労働部観光経済交流局長	酒匂　重久	代理
	鹿児島県	環境林務部長	藤本　徳昭	
		PR・観光戦略部観光課観光地整備対策監	木佐貫　浄治	代理
地方自治体	都城市	商工観光部みやこんじょPR課長	別府　雅彦	代理
	小林市	市長	宮原　義久	
	えびの市	副市長	杉元　真一	代理
	高原町	まちづくり推進課課長補佐	平川　昌知	代理
	鹿児島市	観光交流局長	山口　順一	代理
	指宿市	産業振興部観光課参事	嶺元 和仁	代理
	垂水市	水産商工観光課長	二川　隆志	代理
	霧島市	市長	中重　真一	
	姶良市	企画部長	宮田　昭二	代理
	曽於市	商工観光課長	荒武　圭一	代理
	湧水町	商工観光課長	三堂　誠一郎	代理
	南大隅町	町長	森田　俊彦	
民間	(一社)九州観光推進機構	企画部長	鬼木 幸雄	代理
	(公財)みやざき観光コンベンション協会	観光推進局国務誘致部長	杉尾　重和	代理
	(公社)鹿児島県観光連盟	国内誘致部長	瀬戸口　一啓	代理
	鹿児島県旅行業協同組合	旅行事業部長	（欠席）	

平成30年度 国立公園満喫プロジェクト 霧島錦江湾地域協議会 全参加者名簿

参加者				備考
	所属	役職名	氏名	
国	九州農政局	農村振興部地方参事官	佐々木 明徳	
	九州森林管理局	計画保全部保全課長	矢島 欣也	
		計画保全部保全課生態系管理指導官	甲斐 和幸	
	九州地方整備局	事業調整官	堀 康夫	
	九州運輸局	観光部長	宇都宮 博文	
		観光部国際観光課長	小原 勝	
		観光部国際観光課専門官	吉川 恵美	
		観光部観光企画課係員	橋口 阿津美	
		宮崎運輸支局首席運輸企画専門官	古賀 秀策	
		鹿児島運輸支局首席運輸企画専門官	鐘ケ江 伸一	
	九州地方環境事務所	九州地方環境事務所長	岡本 光之	
県	宮崎県	環境森林部長	甲斐 正文	
		商工観光労働部観光経済交流局長	酒匂 重久	
	鹿児島県	環境林務部長	藤本 徳昭	
		PR・観光戦略部観光課観光地整備対策監	木佐貫 浄治	
地方自治体	都城市	商工観光部みやこんじょPR課長	別府 雅彦	
		みやこんじょPR課主事	堀内 拓也	
	小林市	市長	宮原 義久	
	えびの市	副市長	杉元 真一	
		観光商工課課長補佐兼観光係長	平野 裕子	
		観光商工課主事	平松 貴文	
	高原町	まちづくり推進課課長補佐	平川 昌知	
		まちづくり推進課主任主事	眞方 康孝	
	鹿児島市	観光交流局長	山口 順一	
		観光交流局観光交流部ジオパーク推進室室長	山本 倫代	
		観光交流局観光交流部ジオパーク推進室主査	古殿 紀章	
	指宿市	産業振興部観光課参事	嶺元 和仁	
		観光課観光企画係主事	濵田 裕一	
	垂水市	水産商工観光課長	二川 隆志	
	霧島市	市長	中重 真一	
		商工観光部PR課課長	藤崎 勝清	
		商工観光部PR課観光企画グループ長	徳永 健治	
		商工観光部PR課観光企画グループ主査	亀石 和孝	
	姶良市	企画部長	宮田 昭二	
		商工観光課主査	花田 研一	
		商工観光課主事	中嶋 千代美	
	曽於市	商工観光課課長	荒武 圭一	
	湧水町	商工観光課長	三堂 誠一郎	
	南大隅町	町長	森田 俊彦	
		観光課係長	木佐貫 里子	
民間	(一社)九州観光推進機構	企画部長	鬼木 幸雄	
	(公財)みやざき観光コンベンション協会	観光推進局国務誘致部長	杉尾 重和	
	(公社)鹿児島県観光連盟	国内誘致部長	瀬戸口 一啓	
	鹿児島県旅行業協同組合	旅行事業部長	（欠席）	
事務局	九州地方環境事務所	国立公園課長	小口 陽介	
		国立公園課係員	石橋 珠生	
	霧島錦江湾国立公園管理事務所	国立公園保護管理企画官（所長代理）	川瀬 翼	
		国立公園利用企画官	村山 巌	
		国立公園管理官	武石 俊八	
	えびの管理官事務所	自然保護官補佐	廣澤 順也	
	宮崎県	環境森林部自然環境課自然公園室長	大岩根 充明	
		環境森林部自然環境課自然公園室自然公園担当主幹	宇土 智子	
		環境森林部自然環境課自然公園室技師	松田 祥平	
		商工観光労働部観光推進課主幹	田部 香	
	鹿児島県	環境林務部自然保護課課長補佐	和泉 光広	
		環境林務部自然保護課自然公園係長	上村 貴史	
		PR・観光戦略部観光課主幹兼海外誘致係長	後藤 亮二	
		PR・観光戦略部観光課観光地づくり係技術主査	川枝 公之	
参加者 合計（名）			57	

平成30年度国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会　座席表



資料１

国立公園満喫プロジェクト　霧島錦江湾地域協議会　設置要綱

平成 28 年９月８日　施行
平成 31 年１月●日　改訂

（目的）
第１条　国立公園の美しい自然を活かし、より上質な体験を提供することにより、世界水準の「ナショナルパーク」へと改革していく国立公園満喫プロジェクトを霧島錦江湾国立公園において推進するための具体的なプログラム（以下「ステップアッププログラム 2020」という。）を策定し、実施していくことを目的に、関係機関の相互の連携を図るため、霧島錦江湾地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議事項）
第２条　協議会は、以下に掲げる事項を協議する。
（１）霧島錦江湾国立公園及びその関連地域における国立公園満喫プロジェクトの推進に関する事項
（２）「ステップアッププログラム 2020」の策定及び実施に関する事項
（３）その他、前条の目的を達成するために必要と認められる事項

（構成員）
第３条　協議会は、別表に掲げる関係機関等をもって構成する。
２　協議会は、必要に応じアドバイザーを招集することができる。

（会議）
第４条　会議は、必要に応じて事務局が招集する。
２　議事は、事務局において進行する。

（地域部会）
第５条　霧島錦江湾国立公園の霧島地域、桜島・錦江湾奥地域及び指宿・佐多地域、並びにその関連地域における具体的な事項を検討するため、霧島地域部会、桜島・錦江湾奥地域部会及び指宿・佐多地域部会を設置する。
２　霧島地域部会では、次の事項について所掌する。
（１）「ステップアッププログラム 2020」のうち霧島地域及びその関連地域に関する事項の検討
（２）「ステップアッププログラム 2020」のうち霧島地域及びその関連地域に関する事項の推進
３　桜島・錦江湾奥地域部会では、次の事項について所掌する。
（１）「ステップアッププログラム 2020」のうち桜島・錦江湾奥地域及びその関連地域に関する事項の検討
（２）「ステップアッププログラム 2020」のうち桜島・錦江湾奥地域及びその関連地域に関する事項の推進
４　指宿・佐多地域部会では、次の事項について所掌する。
（１）「ステップアッププログラム 2020」のうち指宿・佐多地域及びその関連地域に関する事項の検討
（２）「ステップアッププログラム 2020」のうち指宿・佐多地域及びその関連地域に関する事項の推進

（事務局）
第６条　協議会の事務局は、宮崎県環境森林部、鹿児島県環境林務部及び九州地方環境事務所に置く。

第７条　各地域部会の事務局は、該当県及び九州地方環境事務所に置く。

（その他）
第８条　この要綱に定めるもののほか、地域部会の運営に関し必要な事項は各地域部会の事務局において定め、その他、協議会の運営に関し必要な事項は協議会の事務局において定める。

附　則　この要綱は、平成 28 年９月８日から施行する。

附　則　この要綱は、平成 31 年１月●日から施行する。

資料１

別表

国立公園満喫プロジェクト　霧島錦江湾地域協議会構成員

構成員		
国	九州農政局	農村振興部地方参事官
	九州森林管理局	計画保全部長
	九州地方整備局	企画部長
	九州運輸局	観光部長
	九州地方環境事務所	所長
県	宮崎県	環境森林部長 商工観光労働部長
	鹿児島県	環境林務部長 ＰＲ・観光戦略部長
地方自治体	都城市	市長
	小林市	市長
	えびの市	市長
	高原町	町長
	鹿児島市	市長
	指宿市	市長
	垂水市	市長
	曽於市	市長
	霧島市	市長
	姶良市	市長
	湧水町	町長
	南大隅町	町長
民間	(一社)九州観光推進機構	専務理事事業本部長
	(公財)みやざき観光コンベンション協会	会長
	(公社)鹿児島県観光連盟	専務理事
	鹿児島県旅行業協同組合	旅行事業部長

資料２　「国立公園満喫プロジェクト」に関する中間評価及び今後の進め方

国立公園の訪日外国人利用者数（推計）

単位：万人

		全公園	8公園全体	阿寒摩周	十和田八幡平	日光	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	慶良間諸島
2017年 訪日外国人国立公園利用者数		600.1	147.9	5.7	1.9	27.1	7.6	1.1	92.6	12.9	-
	標本数	7,625	2,336	60	18	362	76	14	1,679	136	-
	標準誤差率	1.0%	2.1%	11.2%	19.5%	5.1%	9.7%	25.5%	2.7%	7.4%	-
参考 2016年 訪日外国人国立公園利用者数		545.7	114.9	5.8	2.2	24.1	6.1	1.4	67.5	7.9	-
参考 2015年 訪日外国人国立公園利用者数		490.2	105.2	6.3	0.7	19.0	3.3	0.6	68.2	7.1	-
参考 2014年 国立公園利用者数（日本人を含む）		35,218	7,912	360	474	1,609	887	1,341	2,050	1,171	20

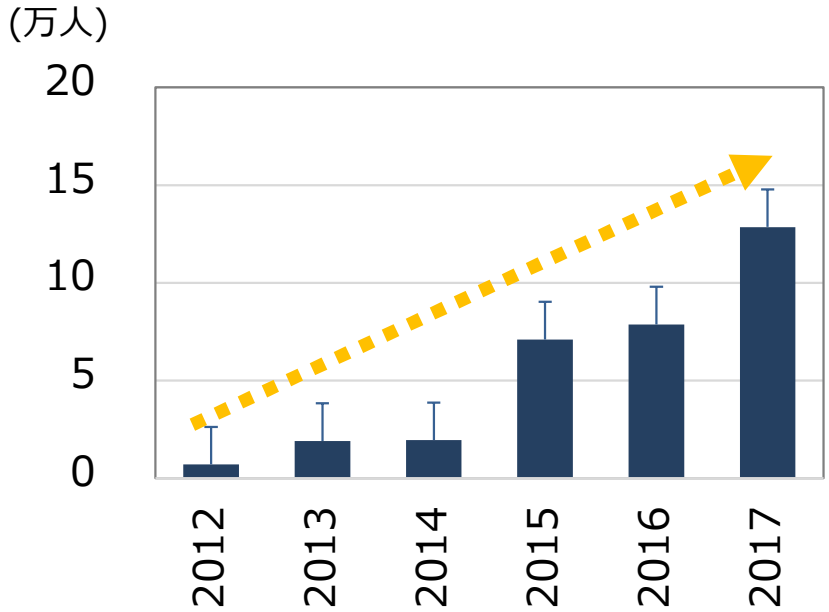
（推計値についての注意点）

- 国立公園実利用者数は、当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。
- 慶良間諸島は、訪日外国人消費動向調査の訪問地選択肢コードに該当する地点が無いため、実利用者数は推計対象外（2018年データより対象）。
- 8公園全体とは、8公園のうちいずれか１つ以上の公園に訪れた実際の利用者の人数。 1人の利用者が8公園内の複数公園を利用しても1人と数える。
- 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。
- 標準誤差率とは、全訪日外国人に調査が出来た場合に得られるはずの値の存在範囲を示す目安である。
  推定値を中心として、その前後に標準誤差の2倍の幅を取れば、その区間内に真の値があることが約95%の確率で期待される。

- **2017年訪日外国人国立公園利用者数は、推計で約600万人（前年比10.0%増）。うち８公園は約148万人（前年比29%増）。**
- **うち霧島錦江湾国立公園は約12.9万人（前年比62.7%増）。 前年比伸び率は８公園の中でトップ。**

霧島錦江湾国立公園の訪日外国人利用者数（推計）

	2015	2017
霧島錦江湾	**7.1万人**	**12.9万人(81.7%増)**
うちアジア	**6.4万人(90.9%)**	**12.4万人(96.3%)**
台湾	2.3万人(33%)	2.2万人(17%)
韓国	1.7万人(25%)	2.8万人(22%)
香港	1.3万人(19%)	4.9万人(38%)
中国	0.8万人(12%)	2.1万人(16%)
その他	0.3万人（5%）	0.5万人（4%）
うち欧米豪州	**0.4万人(6.3%)**	**0.2万人(2.0%)**
英国、ドイツ、フランス、米国、カナダ、オーストラリア		



○鹿児島県の外国人延べ宿泊者数の推移

2015　415,730人
→ 2017　715,320人（72.1%増）

○宮崎県の外国人延べ宿泊者数の推移

2015　201,880人
→ 2017　310,250人（58.7%増）

国立公園の訪日外国人利用者の満足度（アンケート結果）

「大変満足」の割合		8公園単純平均	阿寒摩周	十和田八幡平	日光	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	慶良間諸島
2017年度 滞在全体		39.5%	38.0%	48.1%	52.5%	44.7%	25.2%	33.0%	24.1%	50.2%
	標本数	-	106	58	107	106	140	106	242	260
	自然景観	54.7%	47.5%	59.6%	66.7%	57.9%	47.8%	49.0%	37.8%	71.5%
	宿泊施設	35.6%	34.7%	42.2%	45.7%	35.5%	35.9%	36.4%	18.9%	35.8%
	宿泊施設以外の食事	29.9%	28.6%	32.0%	41.9%	35.0%	25.0%	24.7%	22.6%	29.5%
	ビジターセンター	33.1%	36.7%	32.6%	46.8%	37.8%	28.0%	26.1%	23.5%	-
	現地ツアー・プログラムの内容	29.9%	29.1%	22.5%	40.9%	32.8%	32.3%	27.3%	15.6%	39.0%
	主要駅等から国立公園への交通案内板・標識	29.9%	29.0%	26.7%	45.0%	37.0%	21.9%	27.6%	19.4%	32.3%
	遊歩道や展望台などの整備状況	33.1%	29.9%	37.5%	45.8%	40.5%	28.0%	25.6%	20.6%	37.1%
	パンフレットやスタッフの外国語対応	26.9%	30.2%	23.3%	32.6%	31.6%	18.5%	28.7%	17.5%	32.9%
	お土産の内容	27.7%	31.6%	26.8%	31.6%	37.2%	19.3%	28.4%	15.5%	30.8%
参考	2017年度 滞在全体（日本人）	36.5%	31.7%	37.6%	35.1%	34.1%	28.2%	36.2%	35.2%	53.9%
	標本数	-	42	202	245	243	132	337	104	1,098

- **霧島錦江湾国立公園の満足度は８公園の中で最も低い。（日本人の満足度は平均並）**
- **全ての評価項目において、その満足度は８公園の平均を下回っている。**
- **特に「宿泊施設」「現地ツアー・プログラムの内容」に対する満足度が低く、「主要駅等から国立公園への交通案内板・標識」「遊歩道や展望台などの整備状況」「お土産の内容」「パンフレットやスタッフの外国語対応」も同様に低い。**

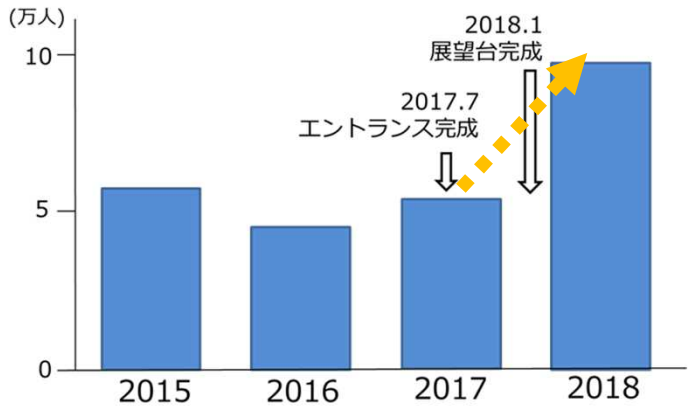
特に取組が進んだ分野　①展望地等の整備

佐多岬の一体的な整備（展望台、園路、観光案内所、駐車場、アクセス道路など）（環境省、鹿児島県、南大隅町）

佐多岬利用者数の推移

南大隅町提供データから環境省作成
日本人を含むデータ

環境省・鹿児島県・南大隅町による一体的な利用環境整備により、2018年の利用者数は前３カ年の平均人数と比べて約1.8倍に増加



えびの高原つつじヶ丘の園路（環境省）

白鳥温泉上湯付近の県道脇の展望スペース（宮崎県、えびの市）

御池皇子港の展望デッキと池周回歩道（宮崎県）

えびの高原キャンプ場ケビン等の改修（えびの市）

鰻池周辺の駐車場、案内板等の整備（鹿児島県、指宿市）

雄川の滝の国立公園編入（環境省、鹿児島県、南大隅町）

➡霧島錦江湾の最大特徴である火山景観・カルデラ景観・海岸景観を快適に楽しめる

特に取組が進んだ分野　②ビジターセンター等拠点の利用環境改善

えびのエコミュージアムセンターやえびの高原キャンプ村、白鳥温泉施設におけるWi-Fi整備、外国人対応スタッフの配置（環境省、えびの市、関係団体）

重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアムにおけるWi-Fi整備、駐車場整備（環境省、鹿児島県、姶良市）

道の駅えびのにおけるアウトドアステーションの開設（えびの市）

桜島新フェリーターミナルにおけるWi-Fi整備、コンシェルジュデスクやカフェの開設（鹿児島市、民間事業者）

➡利用拠点における情報収集を円滑かつ快適に行える

特に取組が進んだ分野　③地域の２次交通環境の改善

佐多岬・雄川の滝を巡る周遊バス
（南大隅町、交通事業者）
※指宿～根占の高速船と連携

霧島楽々周遊観光バス
（霧島市）
※景観を楽しめる回転式座席

かごんまそらバス
（鹿児島市、九州みやび観光）
※オープンバス。降灰も楽しんでもらうため
ゴーグルやマスクを常備

➡ビューポイントに容易かつ効率的にアクセスできる

特に取組が進んだ分野　④着地プログラムの充実

ファムトリップによるインバウンド向けの魅力・課題の抽出と民間事業者ワーキング会議による滞在型プログラムの造成検討、国立公園コンテンツ集の作成（環境省、地域協議会）

地元観光団体がロングトレイル構想を検討するなど、九州自然歩道等を活かしたゆっくり歩いて楽しむプログラムの造成検討（関係団体）

白紫池や池田湖、重富海岸でスタンドアップパドルボード(SUP)を導入するなど、火口湖や海でのアクティビティの開発・充実（えびの市、指宿市、南大隅町、NPO団体、民間事業者）

霧島神宮参拝や高千穂峰登山における多言語音声ガイドの導入（霧島市）

ガイド人材・団体等の養成・充実
（環境省、鹿児島市、曽於市、指宿市、南大隅町など）
※新規に４団体・事業者が発足・活動開始
（佐多岬コンシェルジュ、いぶすき西郷どんガイド、桜島ジオサルク、パドラーズなど）

➡国立公園で多様な体験ができる、感動が得られる

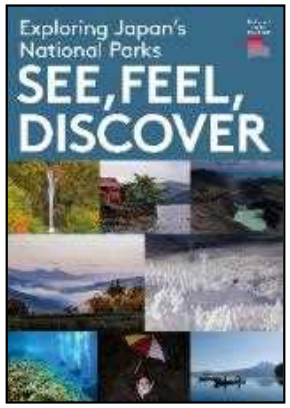
特に取組が進んだ分野　⑤その他プロモーション・イベントなど

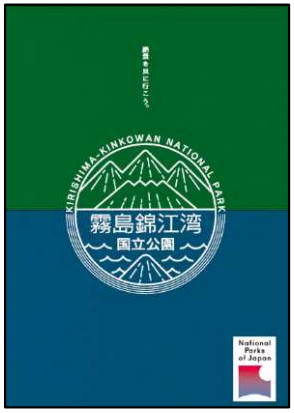
国立公園フォトコンテスト・写真展の開催（宮崎県）

外国人おもてなし店舗の認定（宮崎県）

海外向けPR動画等の発信（小林市など）

九州地区ビジネスマッチング情報交換会（環境省）





国立公園に関する各種プロモーション（環境省、地域協議会構成員）

地域の旅行会社や宿泊事業者等と連携したツアーの充実

（日本旅行「国立公園知るたび」、鹿児島県旅行業協同組合「満喫プロジェクト企画」、南薩観光のNationalParkチラシ、休暇村指宿「満喫プロジェクト連携カヤック・シュノケーリングツアー」、香港の旅行会社によるハイキングツアーの旅行商品化など）

➡霧島錦江湾国立公園に「行きたい」「また来たい」「勧めたい」と思える

霧島錦江湾国立公園 満喫プロジェクト　中間評価

国立公園の訪日外国人利用者数は増加
↓
しかし、霧島錦江湾国立公園の満足度は
８公園の中で最も低い24.0%
↓
満足度を高めていく取組が必要
長期滞在・再訪を促し、地域内消費を増大させる

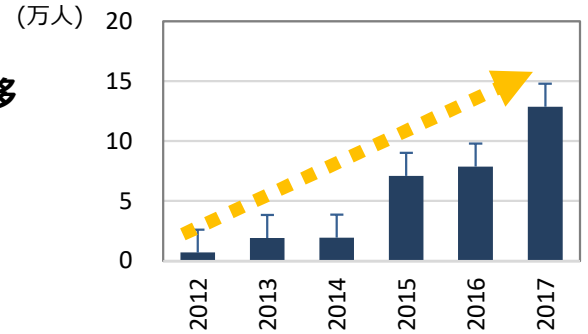
満足度調査
アンケート調査

強化４分野

- 多言語化対応の強化
- 滞在型プログラムの充実
- ２次交通環境の改善
- 情報発信・案内の強化

より快適かつ魅力的な時間を過ごせる国立公園に

○霧島錦江湾国立公園
訪日外国人利用者数の推移



●満足度調査やアンケート調査から、**引き続き展望地の整備やビジターセンター等の利用環境の改善等の取組を継続して実施する**とともに、**「多言語対応の強化」「滞在型プログラムの充実」「２次交通環境の改善」「情報発信・案内の強化」の４分野の取組を強化・加速化する**ことが満足度を高めていくために有効

●今後、ステップアッププログラムに記載されている目標を着実に実施し、特に加速化させる必要がある取組を選定し早急に推進する。あわせて必要な見直しを図る

国立公園満喫プロジェクトの今後の進め方　概要版

1. 国立公園満喫ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの今後の方向性

(1) 日本の国立公園の特徴とｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ

◆ 自然に育まれた人々の暮らしや文化、歴史が根付いていて、共生している。(ブランドスローガン：その自然には物語がある～Stories to Experience～)
◆ 日本の自然保護の根幹を支える制度として、これまでも今後も大きな役割を果たす。

インバウンドの増加

国立公園満喫プロジェクト
インバウンド対策を通じて、
国立公園の魅力を再発見・再構築

(2) 基本的な視点

① 最大の魅力は自然そのもの
- 日本の自然の多様性やその魅力は世界に際立つ。
- 国立公園により、適切な保全と生業を支える。
- 自然そのものの魅力を生かすことで利用推進を図る。

② 暮らしや文化とともにある国立公園
- 国立公園には人の暮らしが息づく場としての価値と地域独自の魅力的な文化や歴史がある。
- 地域産業が経済的に持続可能なモデルを作る。

③ 体積で考える
- 客数だけでなく消費単価や体験の質の高さ・深さをかけた「体積」を大きくすることを目指す。
- シェアの大きい国内需要も意識して進める。

④ 多様なニーズに対応した楽しい国立公園
- 価格・内容でﾊﾞﾗｴﾃｨのある施設・ｻｰﾋﾞｽを提供する。
- 自然環境と調和した高品質・高単価のｻｰﾋﾞｽを提供して利用者、地域住民の満足度向上につなげる。
- 「体験型コンテンツ」の充実等により、滞在の長期化、消費額の向上等を促進

⑤ 広域的な視点で考える
- 国立公園を核に、利用者目線で広域的な観光圏を形成していく。

⑥ 利用者目線から現場を改善する
- 利用者目線に立てば誰にでも分かる不満の解消を現場でしっかり考えて、早急に対処する。
- 基本的な部分の改善を積み重ね、評価を上げる。

⑦ サステナビリティの視点を取り入れる
- 国立公園がサステナブルツーリズムの規範となるよう、公園でのツーリズムを誘導していく。
- エコツーリストから認められる価値・体験を提供する。

2. 国立公園満喫ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの指標と目標

(1) 訪日外国人国立公園利用者数

(2) 質の指標

2017年度	8公園平均
1) 国立公園での訪日外国人旅行消費額	65,851円
2) 国立公園周辺外国人延べ宿泊者数	2.8泊
3) 国立公園での外国人ﾘﾋﾟｰﾀｰ率	16.1%
4) 先行8公園での満足度（大変満足の割合）	39.0%

3. 国立公園満喫ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの枠組み

■先進的、集中的に取組を行う公園【8公園】
・公園全体を対象とする地域協議会を設置し、ステップアッププログラムに基づく総合的な施策を展開

成果を反映

■個別のエリア、テーマ等で集中的に取組を行う公園【H29,30年度は10ヶ所】
・8公園の取組の成果を踏まえ、公園内の限定した地域、または、特定のテーマを持った事業等、熱心な自治体等と連携したコンパクトで効果の高いソフト事業を中心に実施

★８公園に準じる公園【3公園】
・外国人利用者数が多い３つの公園（支笏洞爺、富士箱根伊豆、中部山岳）について、各公園の利用状況等を踏まえつつ、効果的な誘客や適正な利用の推進を図るため、地域を絞った地域協議会の設置等により関係者と連携した総合的な施策を展開

■上記以外の公園
・国立公園全体の共通の取組として、基盤整備（WiFi整備、多言語対応、ユニバーサルデザイン化等）や海外発信等を中心に推進

4. テーマ別の取組

橙字：2020年に目指す取組の状態

(1) 民間活用によるサービス向上

① 多様な宿泊体験の提供

【課題】
➢ ニーズや旅行形態に合わせた新たな利用計画が必要
【今後の主な取組】
➢ グランピングなど新たな宿泊体験の提供
➢ 宿泊施設の誘致候補地検討

国立公園における宿泊体験の多様化実現

② 公共施設の民間開放

【課題】
➢ 先行事例以外にも事業成立性を検証して拡げることが必要
【今後の主な取組】
➢ 新規案件の発掘、公募、運営
➢ PPP/PFI手法導入の検討

最高の自然をゆったりと楽しめる環境の充実

③ 民間事業者との連携

【課題】
➢ ｵﾌｨｼｬﾙﾊﾟｰﾄﾅｰとより具体的・効果的な連携が必要
➢ 奥地にある国立公園までの二次交通の改善が求められる
【今後の主な取組】
➢ ｵﾌｨｼｬﾙﾊﾟｰﾄﾅｰとの連携のための事務局立ち上げ
➢ 二次交通の取組支援制度の検討

利用者ニーズにあった情報やサービスの提供

(2) 受入環境の整備

① コンテンツの磨き上げ 受入体制強化

【課題】
➢ 多言語対応・受入能力に課題
【今後の主な取組】
➢ 外国人ニーズの高い野生生物等をテーマに体験プログラム開発
➢ 多言語ｻｱｰﾃﾞｽｸ・ｺﾝｼｪﾙｼﾞｭ設置

高品質の自然ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑが充実
一括ｻｲﾄ構築による誘客力強化

② 引き算の景観改善

【課題】
➢ 点での景観改善にとどまっており、民間投資を呼ぶには不足
【今後の主な取組】
➢ 利用拠点の面的な景観向上を支援する制度の創設

自然を堪能できる眺望/街並み形成

③ 基盤整備

【課題】
➢ 改修・更新の中長期計画が必要
➢ 公衆トイレの快適性に課題
【今後の主な取組】
➢ 長寿命化計画の策定・実施
➢ 公衆ﾄｲﾚﾘﾆｭｰｱﾙ事業推進

外国人がストレスフリーで楽しめる環境整備

④ 人材育成

【課題】
➢ 裾野拡大とﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ育成
【今後の主な取組】
➢ 研修継続と先進地域の確立

ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ対応可能な充実したｶﾞｲﾄﾞ

⑤ 利用者負担による保全の仕組み作り

【課題】
➢ 地域自然資産法活用も含めたさらなる取組の充実
【今後の主な取組】
➢ 入域料導入支援制度の検討

利用者負担による受入環境整備の更なる促進

(3) プロモーション

【課題】
➢ 目標達成に向けたより効果的で強力なﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝが必要
【今後の主な取組】
➢ 新宿御苑における国立公園PRのためのｻﾃﾗｲﾄｾﾝﾀｰ設置
➢ 予約導線を確保した国立公園ｻｲﾄ構築、ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ展開

外国人へのﾅｼｮﾅﾙﾊﾟｰｸﾌﾞﾗﾝﾄﾞの定着

(4) 関係省庁や地域との連携

【課題】
➢ 連携体制は整いつつあるが、交付金活用に公園ごとに差がある
【今後の主な取組】
➢ 交付金活用実績の更新・共有

総合的な取組の推進

(5) 体制強化

【課題】
➢ さらなる効果拡大のための体制強化が必要
➢ BCPの視点を取り入れる必要性
【今後の主な取組】
➢ 災害対応も含め、体制を強化

現地レンジャーによる適正利用の推進

(6) 質の指標の活用

【課題】
➢ 適正なサンプルの確保
➢ 利用者目線での施策の強化
【今後の主な取組】
➢ 改良方式での年間を通じた実施
➢ 地域協議会へのﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ

利用者の声により改善が重ねられる国立公園

(7) 全国展開

【課題】
➢ 民間活力をより活かすことが必要
【今後の主な取組】
➢ 自然公園制度見直し検討

全国立公園でのｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ拡大と利用の質向上

「今後の進め方」の基本的な視点に沿った主な成果例

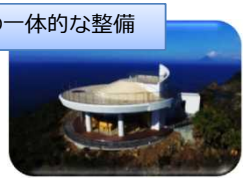
資料３－１

①最大の魅力は自然そのもの

新たに大きな開発を行うのではなく、マイナス要因を取り除くなど、自然そのものの魅力を生かすことにより利用の推進を図る。

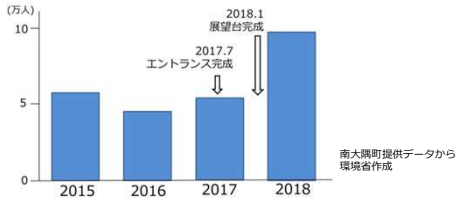
各地における展望地等のさらなる整備（景観改善含む）

佐多岬の一体的な整備



2018年の利用者数は前３カ年の平均人数と比べて約1.8倍に増加

→2019.3にグランドオープン



②暮らしや文化とともにある国立公園

地域の観光業者や様々な地域の産業が経済的に持続可能となるモデルを作り上げる。

食等の暮らしや文化とリンクしたプログラム作り

スメを活用した体験プログラム・ガイドの育成

桜島大根や小みかんの収穫体験や火山灰を活用したプログラム

霧島神宮等における多言語音声ガイドの導入

③体積で考える

自然を活かしたアクティビティや丁寧なサービスを充実させ、滞在時間を延ばし、消費単価や満足度を上げるための工夫を講じる。シェアの大きい国内需要も意識して進めることが重要。

④多様なニーズに対応した楽しい国立公園

民間活力を活かしながら、価格面・内容面でバラエティのある施設やサービスを提供する。「体験型コンテンツ」の充実等により、滞在の長期化、消費額の向上等を促進する。

滞在時間を延ばし、地域内消費を増大させる取組

道の駅えびのアウトドアステーション開設

桜島新フェリーターミナルにおけるカフェの開設など

雄川の滝の国立公園編入

霧島楽々周遊バス

かごんまそらバス

国立公園コンテンツ集の作成(参考資料2)

佐多岬・雄川の滝を巡る周遊バス（指宿からの高速船と連結）

2018年の利用者数は前年から約2.９倍に増加

⑤広域的な視点で考える

国立公園を核として、広域的な観光圏を形成していくという視点が重要。

母都市との連携、地域間の相互利益を生む取組

KIRISHIMA EXPERIENCE BUSの実証運行(参考資料3)

⑥利用者目線から現場を改善する

利用者目線に立てば誰にでも分かる不満の解消を現場でしっかりと考えて、早急に対策することが必要。簡単な部分から評価は上がっていく。

多言語対応、通信環境、トイレ等、細かな利用環境の着実な改善

各施設における多言語解説整備、外国人対応スタッフの配置

Wi-Fi環境整備

トイレの様式化

⑦サスティナビリティの視点を取り入れる

世界のエコツーリストから、さすが日本の国立公園だと思われるような価値・体験を提供することが重要。国立公園がサスティナブル・ツーリズムの規範となり、ツーリズムを誘導していく。

保全と利用が好循環する仕組み・コンテンツ作り

資料３－２

ステップアッププログラム 2020 改訂のポイント

１．背景・必要性

2016 年 12 月のステップアッププログラム 2020 の策定から２年が経過し、目標年である 2020 年まで残り２ヶ年。これまでの取組の進捗を評価し、今後強化・加速化すべき分野を洗い出すとともに、新たな取組等をステップアッププログラムに反映させることによって、プロジェクトのさらなる推進につなげる。

２．改訂のポイント

（１）「今後の進め方」の基本的な視点に沿った見直し

①最大の魅力は自然そのもの

新たに大きな開発を行うのではなく、マイナス要因を取り除くなど、自然そのものの魅力を生かすことにより利用の推進を図る。

・県道えびの高原小田線に加久藤カルデラを一望できる展望駐車場を白鳥温泉上湯付近に整備し、展望確保のための通景伐採を実施します。〈えびの高原・白鳥温泉〉（P29. L20）
・池めぐり周回コースや登山道の整備を進めます。〈えびの高原・白鳥温泉〉（P29. L28）
・八幡地獄散策道の整備を実施します。〈栗野岳〉（P32. L20）

②暮らしや文化とともにある国立公園

地域の観光業者や様々な地域の産業が経済的に持続可能となるモデルを作り上げる。

・国立公園の自然や風景の裏側にあるストーリーや歴史・文化との関連、人々の暮らしといった奥行きを PR することを意識することが有効（P13. L26）
・気軽に登れるトレッキングルートや四季折々の火口湖景観、貴重な野生動植物、温泉地獄や天然のサウナ、食、神話などの文化等を活かしたツアープログラムを開発します。〈既存項目〉〈えびの高原・白鳥温泉〉（P29. L9）
・桜島でしか体験できない、天然温泉堀り、桜島火山体感ツアー、溶岩ミニトレッキング、桜島ナイトツアーを含む「桜島火山体験」プログラムなど既存メニューの外国人観光客への対応や磨き上げについて検討します。〈既存項目〉〈桜島〉（P33. L9）
・スメを活用したガイドツアーを実施します。〈鰻池〉（P38. L9）

資料３－２

③体積で考える

自然を活かしたアクティビティや丁寧なサービスを充実させ、滞在の長期化、消費額・満足度の向上等を促進する。シェアの大きい国内需要も意識して進めることが重要。

・火口湖での水上アクティビティの開発を検討・実証します（スタンドアップパドルボート、カヌー、水遊び等）。〈えびの高原・白鳥温泉〉（P29. L11）
・高千穂峰登山をする外国人旅行者向けのセルフガイド機器を導入します。〈高千穂河原エリア〉（P30. L30）
・水上アクティビティの充実に取り組みます。〈池田湖〉（P37. L24）

④多様なニーズに対応した楽しい国立公園

民間活力を活かしながら、価格面・内容面でバラエティのある施設やサービスを提供する。

・えびのアウトドアビジターセンターを拠点としたアクティビティを実施します。〈えびの高原・白鳥温泉〉（P30. L3）
・ダイナミックな桜島の魅力を体験できるオープンバスを運行します。〈桜島〉（P33. L12）
・新桜島港フェリーターミナルの開設に伴い、多言語対応可能なコンシェルジュデスクや魅力的なカフェを設置します。〈桜島〉（P34. L2）
・観光案内所や展望台において Wi-Fi 環境を整備するとともに、カフェスペース等を設置します。〈佐多岬〉（P39. L11）
・佐多岬線ロードの入口にあたる大泊地区に魅力的な野営場を整備するとともに、宿泊施設やレストランの誘致に取り組みます。〈佐多岬〉（P39. L15）
・民間事業者と連携して遊歩道入口に魅力的なカフェ・売店を設置します。〈雄川の滝〉（P39. L31）

⑤広域的な視点で考える

国立公園を核として、広域的な観光圏を形成していくという視点が重要。

・地域間や母都市との連携、国立公園や観光以外の行政機関・団体や各種ツーリズムの取組との連携、企業との連携を深めることも効果的です。（P24. L16）
・佐多岬と近接する大隅南部県立自然公園などを結ぶ観光ルートの設定を検討します。〈既存項目〉〈佐多岬〉（P38. L35）
・雄川の滝と近接する大隅南部県立自然公園などを結ぶ観光ルートの設定を検討します。〈雄川の滝〉（P39. L26）

⑥利用者目線から現場を改善する

利用者目線に立てば誰にでも分かる不満の解消を現場でしっかりと考えて、早急に対策することが必要。簡単な部分から評価は上がっていく。

・訪日外国人利用者目線に立った取組とする（P24. L20）
・利用者（外国人観光客）目線に立った説明看板やベンチの設置、写真撮影を意識した看板等の設置を実施します。（P26. L21）
・えびのエコミュージアムセンター、えびの高原キャンプ村、白鳥温泉上湯及び白鳥温泉下湯の Wi-Fi 整備・国際化対応の強化を実施します。〈えびの高原・白鳥温泉〉（P29. L26）
・アクセス道の混雑緩和や待ち時間の発生回避のための仕組みを検討します。〈雄川の滝〉（P39. L33）

⑦サスティナビリティの視点を取り入れる

世界のエコツーリストから見て、さすが日本の国立公園だと思われるような価値・体験を提供することが重要。国立公園がサスティナブル・ツーリズムの規範となるよう、公園でのツーリズムを誘導していくことが重要。

・サスティナビリティ（持続可能性）を確保するため、長期的に環境保全や景観の向上につながる仕組みを検討する（P24. L20）
・駐車場利用料を導入し、トイレ、観光案内所等の施設の維持管理やサービス向上、環境保全につながるような「持続的な利用と保全」の仕組みを検討します。〈佐多岬〉（P39. L12）
・駐車場利用料を導入し、トイレ、遊歩道等の施設の維持管理やサービス向上、環境保全につながるような「持続的な利用と保全」の仕組みを検討します。〈雄川の滝〉（P39. L34）

（２）中間評価（自己評価）及び有識者コメントを踏まえた見直し

①中間評価（自己評価）の概要

- 満足度調査やアンケート調査から、引き続き展望地の整備やビジターセンター等の利用環境の改善等の取組を継続して実施するとともに、「多言語対応の強化」「滞在型プログラムの充実」「２次交通環境の改善」「情報発信・案内の強化」の４分野の取組を強化・加速化することが満足度を高めていくために有効。

・多言語による広報・案内・解説文の質・内容の改善・向上を図るため、ネイティブライター等による既存媒体のチェック・修正や新規媒体の執筆・整備を進めます。（P14. L7）
・当国立公園の課題である「満足度の低さ」について、霧島錦江湾国立公園を訪れた訪日外国人にこれまで以上に快適かつ魅力的な時間を過ごしてもらい、旅行者の満足度を高めていくため、引き続き展望地の整備やビジターセンター等の利用環境の改善等の取組を継続して実施するとともに、「多言語対応の強化」「滞在型プログラムの充実」「２次交通環境の改善」「情報発信・案内の強化」の４分野の取組を強化・加速化していくことが極めて重要です。（P24. L9）

②有識者コメントの概要

- 霧島地域と錦江湾地域のつながりが分かりにくい。個々のカルデラではなく、全体の壮大さ・スケール感を伝える工夫が必要。火山だけでなく、火山と共に暮らしている人も魅力。暮らしている人をどのように伝えていけるかも課題。

・国立公園の自然や風景の裏側にあるストーリーや歴史・文化との関連、人々の暮らしといった奥行きを PR することを意識することが有効（P12. L26）

- 引き続き、ガイドなど人を後押しする取組、二次交通に関する取組の継続が重要。

・えびの高原などへの路線バスの誘致や充実に向け、鹿児島空港から霧島連山の中央部や霧島地域北部を通るバスの実証運行等を実施し、二次交通の改善に向けた取組を進めます。(P21.L20)
・霧島の風景を望める周遊観光列車・バスや霧島地域を縦貫するバスの検討・実証運行を実施します。(P26.L28)

- 母都市の人々に意識を持っていただけるようにインナープロモーションを実施すべき。

・効果的なプロモーションを実施するため、地域においてプロモーションや訪日外国人の受け入れに関わる事業者や住民にも霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知する、いわゆる「インナープロモーション」も重要(P12.L30)
・地域で開催される各種イベントにおいて、霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知し、地域一体となった効果的なプロモーションを推進します。(P14.L17)
・取組に関わる人材・団体の養成・確保を意識する(P24.L22)
・地域一体となった効果的なプロモーションを実施するため、地域で開催される各種イベントにおいて、霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知します。(P40.L23)

（３）個別の取組の進捗に応じた追記・更新

- 既に実施した取組、実施中の取組、これから実施する取組を追記する。（H30 補正予算や H31 予算要求の内容を踏まえる）
- 進捗に応じて取組を具体的に記述するとともに、「検討する」「実証する」「実施する」の取組段階を更新する。
- 新たに設定すべきビューポイント（雄川の滝）について、取組を記載する。
- ステップアッププログラム 2020 別紙の「実施主体」の欄について「検討主体・実施主体」とし、可能な限り主体を記載する（検討主体すら決まっていない状態を解消する）。あわせて「検討・実施予定時期」を更新する。

→ 資料4を参照
→ 全213個の個別の取組のうち、終了した項目が16個、検討事項から実施事項に移行した項目が 38 個、新たに追加された項目が 30 個。(改訂後の内訳は、検討事項が 114 個、実施事項が 99 個)
→ 全213個の個別の取組の進捗段階は、検討予定3個、検討中106個、検討終了 1 個、実施予定9個、実施中 79 個、実施済み 15 個
→ 別紙において、全ての項目において「検討主体・実施主体」を明記し、あわせて「検討・実施予定時期」を明記・更新

資料３－２

（４）その他

- 他省庁との連携、各種ツーリズム、企業・団体との連携についても記載する。

・国立公園オフィシャルパートナーの企業・団体等と連携してプロモーション活動を推進します。（P14.L20）
・地域間や母都市との連携、国立公園や観光以外の行政機関・団体や各種ツーリズムの取組との連携、企業との連携を深めることも効果的です。（P24.L16）
・桜島・錦江湾ジオパーク、霧島ジオパーク、環霧島会議、錦江湾奥会議等の取組と連携した施設整備・利用環境の改善を進めます。（P39.L7）
・民泊、農泊、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム、ガストロノミーツーリズム等、各種ツーリズムと具体的な連携を図ります。（P39.L9）
・国立公園オフィシャルパートナー企業のほか、公園事業者や地域の民間事業者と連携し、具体的な事業を実施します。（P40.L26）

- 改訂に当たっては、民間団体・事業者からも意見を聴取し、改訂案に反映する。

・皇子港園地への進入路の改良、駐車場整備を実施し、廃屋の撤去、カフェ等の誘致に取り組みます。〈御池・高千穂峰〉（P31.L3）
・国立公園外の主要な交通拠点・交通結節点と国立公園内を結ぶ二次交通アクセスの確保を図るとともに、滞在型コンテンツの造成、誘客・プロモーションの促進に一体的に取り組みます。（P40.L16）

資料３－２

３．さらに強化を図るべきポイント

（１）国立公園への二次交通環境の整備・改善

・各地で周遊バスの実証運行・本格運行を展開
　（佐多岬・雄川の滝を巡る周遊観光バス、霧島楽々周遊バス、
　　かごんまそらバス、KIRISHIMA EXPERIENCE BUS など）
・これらの周遊バスについて継続的な運行につなげていくとともに、
　他の地域においてもバス以外の方法も含め検証していく必要

【取組案】
〇レンタカーやタクシーとの効果的な連携
〇観光列車やクルーズ船、錦江湾遊覧船との連結
〇サイクルツーリズムやロングトレイルとの組み合わせ
〇国立公園外のコンテンツとの連携（農泊、酒蔵、温泉地など）

（２）魅力的な体験コンテンツの磨き上げ

・自然、文化、暮らしとリンクした体験コンテンツを各地で展開
　（マイ足湯堀り、桜島大根堀り体験、スメ調理体験など）
・さらなるコンテンツの造成・磨き上げ・発信が必要

【取組案】
〇食や文化、暮らしを体験することにより、その裏側にある自然・国立公園のストーリーに気づくような深みのある体験コンテンツ
〇野生動植物や自然現象を活かした国立公園らしい魅力的な体験コンテンツ
〇民間事業者やガイド団体との連携深化、プロモーション支援など

資料４

霧島錦江湾国立公園

ステップアッププログラム 2020

国立公園満喫プロジェクト

霧島錦江湾地域協議会

2016 年 12 月　策定

（2019 年 1 月　改訂）

目次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

１．現状分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・P2
（１）霧島錦江湾国立公園の特徴
（２）霧島錦江湾国立公園への訪日外国人の国別内訳
（３）霧島錦江湾国立公園が有する課題

２．コンセプトと取組方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・P10
（１）霧島錦江湾国立公園のコンセプト
（２）コンセプトを支える魅力と取組の方針
（３）ターゲット

３．目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・P12
（１）訪日外国人利用者数
（２）個別目標

４．プロジェクトの実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・P13
（１）国立公園への誘導策・プロモーションに係る事項 ･･･P13
（２）主要交通拠点から国立公園までのアクセスルートに係る事項 ･･･P15
（アクセスルートの特定と取組方針、実施する事項）
（３）国立公園内に係る事項 ･･･P25
（取組方針、国立公園全体に係る事項、ビューポイントに係る事項）
（４）国立公園内外問わず、地域一体となって実施する事項 ･･･P40
（５）スケジュール ･･･P40

５．効果検証 ・・・・・・・・・・・・・・・・P41
（１）訪日外国人利用者数
（２）個別事項

６．進捗管理とプログラムの改訂 ・・・・・・・・・・・・・・・・P42

（参考）国立公園満喫プロジェクト 霧島錦江湾地域協議会 設置要綱 ･･･P43
国立公園満喫プロジェクト 霧島錦江湾地域協議会 構成員 ･･･P45

はじめに

2016 年 3 月に、政府により「明日の日本を支える観光ビジョン」がとりまとめられ、訪日外国人旅行者数を 2020 年までに 4,000 万人とすること等が新たな目標として掲げられました。

この目標を達成し、なおかつ裾野の広い観光を通じて活気ある地域社会の実現を目指すためには、これまで十分に活用されていないものを含め、我が国の自然・文化・気候・食等の豊富な観光資源を今まで以上に活用することが必要となります。

その点、我が国の国立公園は、豊かな自然のみならず、地域に根ざした生活文化や地域産業、食等の魅力ある観光資源を有している一方、これまで十分にそのポテンシャルが発揮されていませんでした。

そこで上記のビジョンを踏まえ、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図ることを目標に、「国立公園満喫プロジェクト」として、2020 年までに訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施し、訪日外国人の国立公園利用者数を現在の年間 430 万人から 2020 年には 2 倍以上の 1,000 万人に増やすことを目指すこととなりました。

上記の目標を達成するため、全国の国立公園の中で、世界最高水準の「ナショナルパーク」づくりという改革に挑戦する候補地として先行的、集中的に取組を実施する国立公園として、霧島錦江湾国立公園が「多様な火山」と「『環霧島』の自治体連携」が評価のポイントとなり選定されました。本ステップアッププログラムは、2016 年度から 2020 年度までの 5 年間を計画期間とする“ロードマップ”として、行政､民間からなる霧島錦江湾地域協議会において､その具体的な取組の方向性を位置づけるものです。

なお、九州では 2019 年にラグビーワールドカップと女子ハンドボール世界選手権が開催されることから、ヨーロッパを中心とした訪日外国人の増加が想定されるため、計画期間を前倒しするなど 2019 年を意識した対策の検討も必要です。

また、本ステップアッププログラム策定後も霧島錦江湾地域協議会を年１回程度開催することとし、その中で目標の達成度合いを評価しその後の取組に反映させ、それに応じて本ステップアッププログラムも改訂していきます。（2019 年 1 月に改訂）

この「国立公園満喫プロジェクト」では国立公園の外国人利用者数や利用の質の向上を一つの目標としていますが、最終的に目指すべき姿は、地域の自然・文化・食・人等の活用による観光振興によって地域がより活性化され､そして地域の方々が地域の暮らしに希望と誇りを持った持続的な取組に繋がり、さらにそれが次世代に継承されていくことです。

そのためには、本公園が持つ資源のポテンシャルを最大限に活用するとともに、九州全体が一体となった広域的な視野を含めた取組が必要です。

１．　現状分析

（１）霧島錦江湾国立公園の特徴

当公園は、1934（昭和 9）年に指定された我が国最初の国立公園のひとつです。加久藤・小林カルデラ、姶良カルデラ、阿多カルデラという 3 つの巨大カルデラ火山の列で構成される日本で唯一の特徴を持つ国立公園で、複合火山の霧島山塊からなる霧島地域、我が国随一の海域カルデラ景観を有する錦江湾地域からなります。国立公園全体で海面から山頂まで 1,700m の標高差があり、多種多様な地形・景観・生態系を楽しむことができます。

本プログラムの策定にあたっては、当公園内の地域性に鑑み、錦江湾地域を改めて「桜島・錦江湾奥地域」、「指宿・佐多地域」とし、「霧島地域」をあわせたこれら 3 地域について、それぞれの固有の背景や共通の課題等に対応した分析を行いました。

□霧島地域は加久藤・小林カルデラの南縁に位置し、国内では類を見ない 20 数座の火山と多くの火口湖が集中する火山群です。2011（平成 23）年には約 300 年ぶりに新燃岳が、2018（平成 30）年には 250 年ぶりに硫黄山が噴火するなど、現在も活発な火山活動が見られます。ノカイドウやミヤマキリシマ、ヤイロチョウなど貴重な野生動植物の宝庫であるとともに、硫黄泉や炭酸水素塩泉など、多種多様な泉質の温泉が点在しています。また、頂上に神が降臨の際に突き立てたとされる「天の逆鉾」が立ち、日本神話の天孫降臨の地とされる高千穂峰や、渡来人の望郷の地ともいわれる韓国岳など、神話・伝承に彩られ、周辺にはこれにまつわる神社、史跡等が多数存在しています。

新燃岳（2017 噴火前）

ノカイドウ

高千穂峰

□桜島・錦江湾奥地域は、巨大噴火により形成された姶良カルデラの陥没地形で、現在も活

発に火山活動を続ける桜島を象徴とし、ダイナミックな大地の形成、豊富な温泉の他、薩摩藩にちなむ歴史・文化的資源など、自然と人文とが調和した特色ある景観を有しています。桜島は世界的にも有名な活火山であり、約 100 年前（1914 年）の大規模噴火では流出した溶岩によって大隅半島と陸続きになるなど、幾多の噴火によって島の地形は大きく変貌を続けています。錦江湾奥地域には桜島をとりまくように展望地が存在し、錦江湾と桜島火山をさまざまな角度から楽しむことができます。

桜島

重富海岸

高峠

□指宿・佐多地域は、亜熱帯性植物とともに、断崖からの展望や、多種多様な火山由来の地形を見ることができます。指宿地域は、池田湖、開聞岳及び長崎鼻等、阿多カルデラに起因する様々な火山景観があり、温泉保養及び風景観賞等の観光利用が盛んです。地域のシンボルともなっている開聞岳（標高 924m）山頂からは 360 度の眺望が開けており、天気の良い日には霧島連山や屋久島まで見渡すことができます。佐多地域は本土最南端の佐多岬と雄川の滝（2018（平成 30）年に国立公園に編入）が主に利用されています。佐多岬の亜熱帯性植物と海岸の勇壮な断崖景観は第一級で、海岸探勝、風景探勝の観光地として親しまれています。また、雄川の滝はエメラルドグリーンの滝壺と幾何学模様の岩肌のコントラストが魅力で、近年観光客が増加しています。海域公園地区では、サンゴの海特有の色彩豊かで多種多様な生き物を楽しむ利用も行われています。

池田湖畔から望む開聞岳

知林ヶ島

佐多岬

（２）霧島錦江湾国立公園への訪日外国人の国別内訳

霧島錦江湾国立公園への訪日外国人利用者数（推計）は 2015 年時点で 7 万 1 千人、うち約 90%がアジア系で 6 万 4 千人、約 6%が欧米豪系で 4 千人となっています。2017 年は 12 万 9 千人で、うち約 96%がアジア系、約 2%が欧米豪系となっています。

表 1）霧島錦江湾国立公園訪日外国人利用者数

（環境省：「2015 年国立公園別　訪日外国人国籍別実利用者数*1 推計値」及び
「2017 年国立公園別　訪日外国人国籍別実利用者数*1 推計値」より）

	2015 年	2017 年
全体 <>内は標準誤差率*2	7 万 1 千人 <8.3%>	12 万 9 千人 <7.4%>
アジア	64 千人(90.9%)	124 千人(96.3%)
台　湾	23 千人(33%)	22 千人(17%)
韓　国	17 千人(25%)	28 千人(22%)
香　港	13 千人(19%)	49 千人(38%)
中　国	8 千人(12%)	21 千人(16%)
その他	3 千人(5%)	5 千人(4%)
欧米豪	4 千人(6.3%)	2 千人(2%)

*1：「公園別実利用者数」とは
　→当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。
　　1 人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても 1 人と数える。

*2：推計値の算出方法は「平成 29 年度自然公園等における外国人利用者数の推計手法検討調査業務報告書」を参照

（参考①）九州各空港の利用者数及び鹿児島空港・宮崎空港・鹿児島港の国籍別入国者数

（法務省：出入国管理統計（2017 年）より）

表 2）九州各空港の外国人利用者数

		入国者数(人)	出国者数(人)
九州	福岡空港	2,205,616	2,194,443
	長崎空港	24,621	22,937
	大分空港	58,362	56,790
	熊本空港	51,077	51,705
	鹿児島空港	126,002	119,824
	宮崎空港	39,797	39,785
	北九州空港	126,211	127,721
	佐賀空港	78,767	78,011

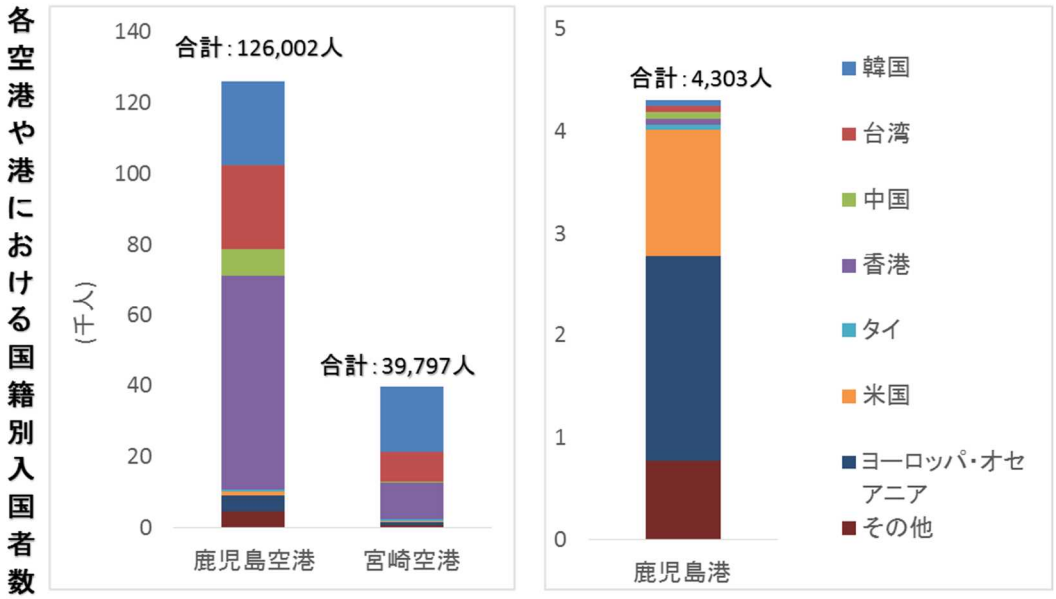


図 1）当国立公園周辺の玄関口となる空港・港における国籍別入国者数（2017 年）

福岡空港で特に外国人利用者が多く、入国・出国いずれも九州全体の 85%を占めている。当地域周辺の他国との玄関口においては、港利用者よりも空港利用者が多い。空港利用者は韓国、台湾などアジア地域からの入国者が多いが、港利用者は欧米からの入国者が多い。

（参考②）九州７県の県別延べ外国人宿泊客数（観光庁：宿泊旅行統計調査より）

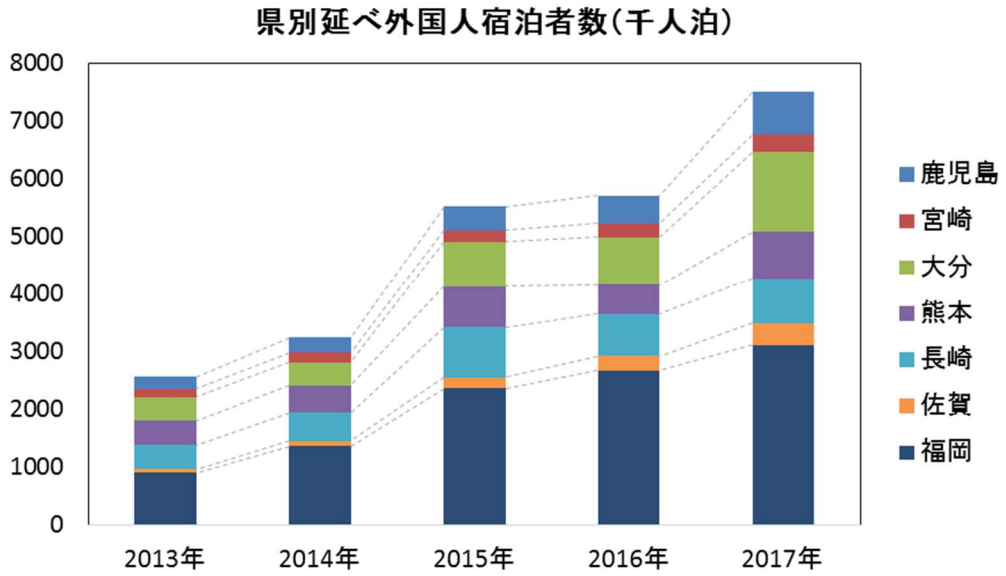
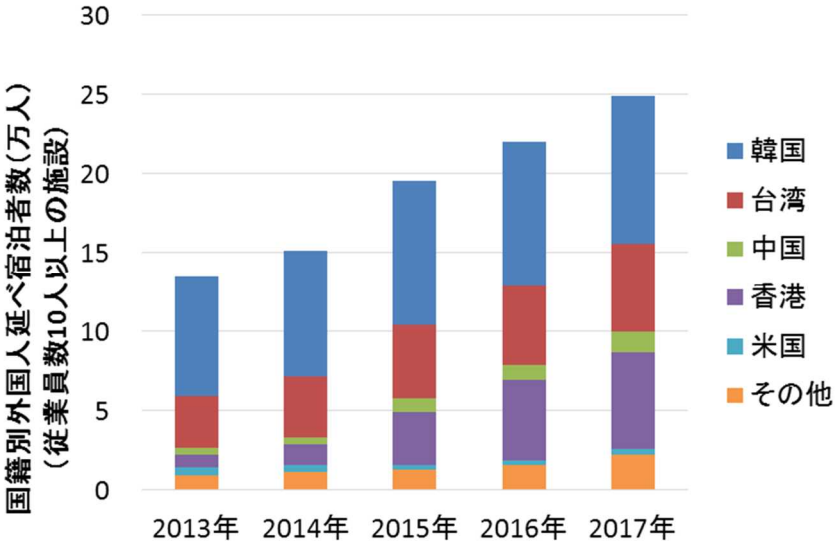


図 2）九州 7 県県別延べ外国人宿泊者数

九州地域全体の延べ外国人宿泊客数は右肩上がりである。

（参考③）宮崎県・鹿児島県を訪れている外国人宿泊客数及びその傾向

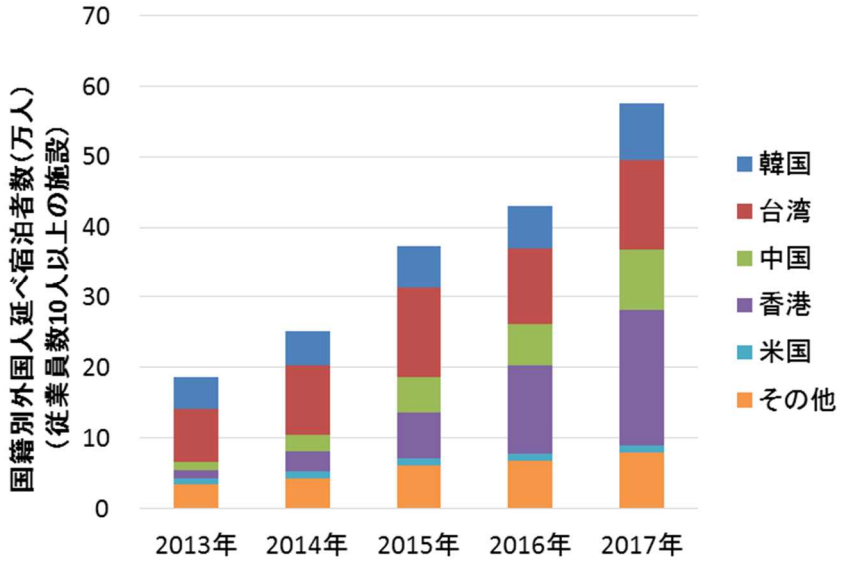
○宮崎県（観光庁宿泊旅行統計調査より）



年度	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
総宿泊客数(人)	136,990	161,020	201,880	245,180	296,670

図 3）過去 5 年間の宮崎県内外国人宿泊客数

○鹿児島県（観光庁宿泊旅行統計調査より）



年度	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
総宿泊客数(人)	214,810	266,000	415,730	480,920	744,180

図 4）過去 5 年間の鹿児島県内外国人宿泊者数

宮崎県と鹿児島県の両県の外国人宿泊客数は、2013 年から 2017 年までの 5 年間で宮崎県では約 2.2 倍、鹿児島県では約 3.5 倍に増加している。両県の外国人宿泊客の国別内訳は、最新のデータでは宮崎県は韓国を中心に、鹿児島県では香港を中心にアジア地域の外国人宿泊客が多い。

（3）霧島錦江湾国立公園が有する課題

霧島錦江湾国立公園は、多様な火山地形や温泉等の火山の恵みが大きな魅力となっています。しかし、地域を楽しむ仕組みが少ないため満足度が低く滞在時間が短いこと、また国立公園への誘導が不十分なため、その魅力を十分に伝えられていない状況にあります。

満足度が低く滞在時間が短いという課題に対しては、滞在時のサービスの充実度を上げるため、体験プログラムの開発・充実を含めた新たな魅力を創出することや、滞在しやすい利用環境を整える必要があります。また、国立公園への誘導対策については、プロモーションやアクセスルート上の整備等の取組が重要となります。

国立公園を楽しむための仕組みづくり

＜魅力の創出＞

・外国人観光客を案内できる地元ガイドや外国人観光客に向けて滞在のためのサービスを提供する仕組みが不足しています。
・外国人観光客が魅力に感じるツアープログラムやアクティビティ、体験プログラムが少ない状況です。
・既存の観光資源やアクティビティ、ガイド等の情報が一元化されておらず、地域一体となったプロモーションや情報提供ができていません。

＜滞在しやすい環境整備＞

・国立公園内の Wi-Fi 環境が不十分であり、外国人観光客が滞在時に観光情報や防災情報等を入手できません。
・宿泊施設やビジターセンター等が老朽化しており、ユニバーサルデザイン化に対応できていません。

国立公園への誘導対策

・九州に訪れた多くの外国人観光客を、九州北部地域から九州南部地域へと誘導するプロモーションが不十分です。
・主要交通拠点から国立公園までの観光案内板等の多言語表示が不十分であるなど、国立公園へ誘導するための周辺環境が整っていません。
・国立公園にアクセスするための公共交通機関や各地域内を周遊するための公共交通機関等が不足しています。

2．コンセプトと取組の方針

（1）霧島錦江湾国立公園のコンセプト

多様な火山とその恵み、壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾

～まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食～

（2） コンセプトを支える魅力と取組の方針

多様な火山地形と火山の恵み、神話と伝承を辿り楽しむ霧島地域

【取組の方針】

・多様な火山地形や火口湖の景観を活かした上質な宿泊施設の誘致及び魅力的なアクティビティの開発を進めます。

・多種多様な泉質を誇る温泉、湧水、神話や史跡、伝統文化、食などの地域資源を自然体験と組み合わせることにより、多様なニーズに対応できるツアープログラムの開発（霧島周遊ツアー等）を行います。

・既存のガイド団体の取組を活かした地元ガイドの育成・充実を図ります。

・主要交通拠点からの二次アクセスの充実を検討します。

・霧島ジオパークの取組と連携して事業を進めます。

陸から海から活火山桜島を間近に体験、雄大な桜島の眺望を楽しむ桜島・錦江湾奥地域

【取組の方針】

・桜島・錦江湾ジオパークの取組と連携した施設整備やプロモーションを進め、ツアープログラム開発の充実やガイド育成に努めます。

・周遊観光ルートの整備を検討します。

多様な温泉と開聞岳の眺め、海岸の断崖景観と亜熱帯性植物の指宿・佐多地域

【取組の方針】

・ツアープログラム開発や、ガイド育成（多言語対応）を行います。

・周遊観光ルートの整備を検討します。

・主要交通拠点からの二次アクセスの充実を検討します。

（3） ターゲット

地域別では、霧島錦江湾国立公園への訪日外国人利用者数のうち、9 割以上を占めるアジア地域を中心に誘客を行うとともに、2019 年に開催されるラグビーワールドカップ等で今後九州への来訪が見込まれる欧米豪地域の市場も開拓していきます。

旅行形態別では、個人や家族単位の少人数のグループで、空港や鹿児島中央駅、宮崎駅などの主要交通拠点から公共交通機関やレンタカー等を利用する外国人観光客をターゲットとし、山海の自然や温泉等の観光資源を活用した誘客を行っていきます。

また、団体旅行で来訪している外国人観光客についても、個人旅行客として再訪してもらえるような魅力の発信をすることで、リピーターやファンを増やしていきます。

３．目標

（１）訪日外国人利用者数

霧島錦江湾国立公園は、2020 年に訪日外国人利用者数を **20 万人**まで増加させることを目標とします。（2015 年は 7 万 1 千人と推計　標準誤差率は 8.3%）

（２）個別目標

鹿児島県及び宮崎県への訪日外国人宿泊者数を増加させることを目標とし、観光資源の質や滞在時の快適性・利便性の向上を図り、訪日外国人の「質」や「満足度」に関する項目と調査手法を検討します。（例：平均消費単価、平均滞在日数）

４．プロジェクトの実施

国立公園への誘導や滞在時の充実度に課題をかかえる当国立公園では、鹿児島空港等の主要交通拠点から外国人観光客に来てもらうための取組、地域に来て魅力的なツアープログラムを楽しんでもらうための取組、国立公園内をより外国人観光客に利用しやすくするための取組をそれぞれの地域で実施して、地域の魅力をアピールしていく必要があります。

そして、九州北部を訪れる外国人観光客を九州南部へと、九州全体を周遊するような旅行形態となっていくよう、「環霧島会議」、「錦江湾奥会議」などの地域連携の体制をフル活用し、地域一体となった取組を進めていく必要があります。

これらを進めるため、行政・民間等の関係者が連携し、今後検討する取組についてまとめました。

（１）国立公園への誘導策・プロモーションに係る事項

国立公園への誘導策及びプロモーションについては、「霧島錦江湾国立公園」という枠にとらわれず、九州を一体的にとらえて効果的な発信をしていく必要があることから、観光庁や九州観光推進機構をはじめ、九州各県、DMO 等と連携したプロモーションを実施します。また、多言語に対応した問合せ窓口の一元化も求められており、広域の観光組織等の設立の動きと連携していくことが必要です。

プロモーションでは「興味を持ってもらう」、「行ってみようと思ってもらう」、「もう１回来たいと思ってもらう」という段階を踏まえた取組を行っていく必要があります。具体的には、国立公園内外（海外や九州主要交通拠点を含む）において、ホームページ・看板・パンフレット等により魅力を伝える広報を行うこと、国立公園までアクセスしやすい多様なサービスを整えること、訪れた人が「魅力を発信したい」と感じるような充実した自然体験を提供することが重要です。

また、当国立公園のある九州南部へのプロモーションにおいては、九州の外国人観光客の多くが、福岡空港や博多駅等を玄関口として福岡周辺の九州北部に留まり、九州南部へと周遊するような旅行形態となっていないことにも留意する必要があります。

なお、プロモーションに当たっては、対象市場にあわせて伝えるべき内容の絞り込みを行うことが重要です。例えば、欧米豪向けでは、観光スポットの平易な案内だけではなく、国立公園の自然や風景の裏側にあるストーリーや歴史・文化との関連、人々の暮らしといった奥行きを PR することを意識することが有効です。一方、アジア向けでは、いわゆるインスタ映えやショッピングなどを意識したプロモーションが有効です。

加えて、効果的なプロモーションを実施するため、地域においてプロモーションや訪日外国人の受け入れに関わる事業者や住民にも霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知する、いわゆる「インナープロモーション」も重要です。

どこで？	海外もしくは国内	海外もしくは国内	国立公園内 もしくはアクセスルート
どうやって？	・すばらしい景観があること を知って（HP、ポスター） ・気になるイベントが開催さ れると知って（HP、看板） ・STEP3に達した人から聞いて	・アクセスしやすいことを 知って（HP、パンフレット） ・言葉の壁も少なく、気軽に 巡ることができると知って ・ひとつの場所だけでなく くつかの場所にも簡単に 足を運べると知って	・楽しく魅力的なツアープロ グラムを経験して ・すばらしい景観を見て、体 感して ・アクセスに苦労が少なかっ たことを感じて

1）「興味を持ってもらう」ためのプロモーション

・2019 年 9 月開催のラグビーワールドカップに訪れる欧米人や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックにあわせて九州を訪れる外国人観光客に対して、国立公園への誘致対策を実施します。
・鹿児島空港及び宮崎空港で運航する海外定期路線就航地への積極的なプロモーションやセールスを行うことによる海外定期路線の維持・拡充に取り組みます。
・九州北部地域における主要交通拠点となる空港や港での国立公園のプロモーションを実施します。
・霧島地域をミシュラン・グリーンガイドの星付き観光地としての評価を得ることを、霧島地域部会の一つの目標とすることを検討します。
・海外向けメディアや有力ブロガー、旅行会社等を招請し、国立公園の各コンテンツの改善意見をもらうとともに、国立公園の魅力について海外へ情報発信してもらうためのファムトリップやビジネスマッチング会議を実施します。
・ツーリズム EXPO や各種商談会などに参加し、国内外の旅行会社・OTA（Online Travel Agent）等へのアプローチを行います。
・国立公園オフィシャルパートナーの企業・団体等と連携してプロモーション活動を推進します。
・国内外の登山用品店等でのプロモーションキャンペーンの展開を検討します。
・日本のガイドブックなどを外国向けに出版している企業へのアプローチを行います。

2）「行ってみようと思ってもらう」ためのプロモーション

ホームページ･看板・パンフレット等による広報

・国や九州全体として取り組むプロモーションと連携して、外国人観光客へ向けて国立公園のオウンドメディア・サイトの構築を検討します。
・国立公園の魅力を Facebook や Instagram のような SNS で定期的、日常的に発信します。
・自治体等の既存の観光サイトで､動画等を活用した国立公園の魅力に関する情報発信を実施します。

・共通の認識のもとでのマークの使用や、統一した多言語表記の看板を作製します。
・多言語による広報・案内・解説文の質・内容の改善・向上を図るため、ネイティブライター等による既存媒体のチェック・修正や新規媒体の執筆・整備を進めます。
・交通インフラの結節点・乗り換え等の分かるシステムの構築とパンフレットなどでの情報発信を検討します。

イベントの開催にあわせた情報発信

・霧島えびの高原エクストリームトレイルの海外選手に、SNS で情報発信を依頼します。
・霧島 1 周ウルトラマラソンの開催を検討します。
・CIR（国際交流員）等外国人材を活用した観光・イベントの発信を実施します。
・霧島国際音楽祭及び霧島ジオパークの取組と連携した情報発信を進めます。
・地域で開催される各種イベントにおいて、霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知し、地域一体となった効果的なプロモーションを推進します。

交通インフラサービスの充実

・高速道の良好なアクセスを活かした外国人観光客向けのドライブキャンペーンを九州レンタカードライブ協議会と連携して実施します。
・鹿児島県や宮崎県へ寄港するクルーズ船の誘致を促進します。
・チケットクーポン事業等による周遊性の向上を検討します。

（2）主要交通拠点から国立公園までのアクセスルートに係る事項

国立公園に至るまでの主要交通拠点やアクセスルートを洗い出し、取組方針を立てた上で、地域ごとに現状を踏まえた取組を進めていきます。

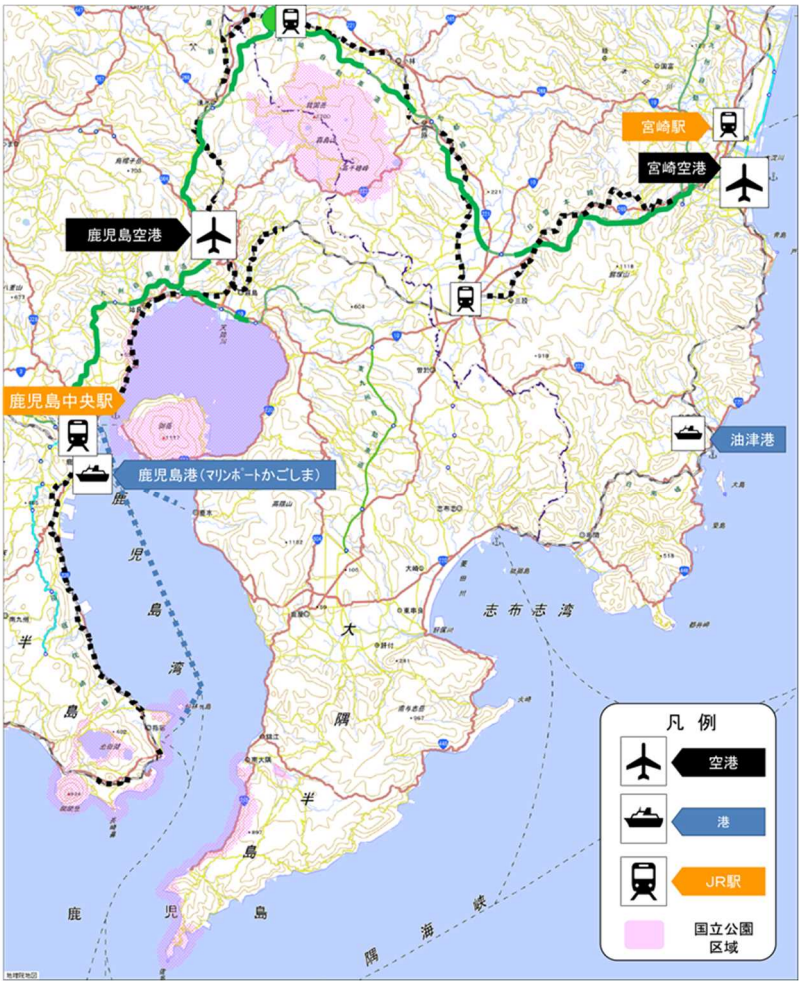
1）アクセスルートの特定

霧島錦江湾国立公園への外国人観光客の玄関口は、国際線や羽田空港等の都市圏の国内線が就航する鹿児島空港や宮崎空港、海外からのクルーズ船が寄港する鹿児島港（マリンポートかごしま）や油津港、さらには福岡等の北九州方面から九州新幹線を利用して鹿児島中央駅へ至るルートが考えられます。これらの玄関口を主要交通拠点と定め、主要交通拠点から公共交通機関やレンタカーを利用して、最寄りの JR 駅、港、自動車道を経て国立公園に入るルートをアクセスルートとして特定する作業を進めていきます。

アクセスルートの特定にあたり、当国立公園は、霧島地域、桜島・錦江湾奥地域、指宿・佐多地域と 3 地域に分かれること、主要交通拠点から国立公園へ至る道路網が複雑でルートの特定が難しいこと、鉄道や定期船など多様な交通網があることなどから、国立公園へ至る主要ルートをアクセ

スルートとして暫定的に整理しました。なお、今後実施する現状分析調査等を踏まえ、それぞれの地域において具体的なアクセスルートの検討を行います。

―主要交通拠点―



空港

・鹿児島空港
・宮崎空港

港

・鹿児島港
（マリンポートかごしま）
・油津港

鉄道

・鹿児島中央駅
・宮崎駅

□霧島地域

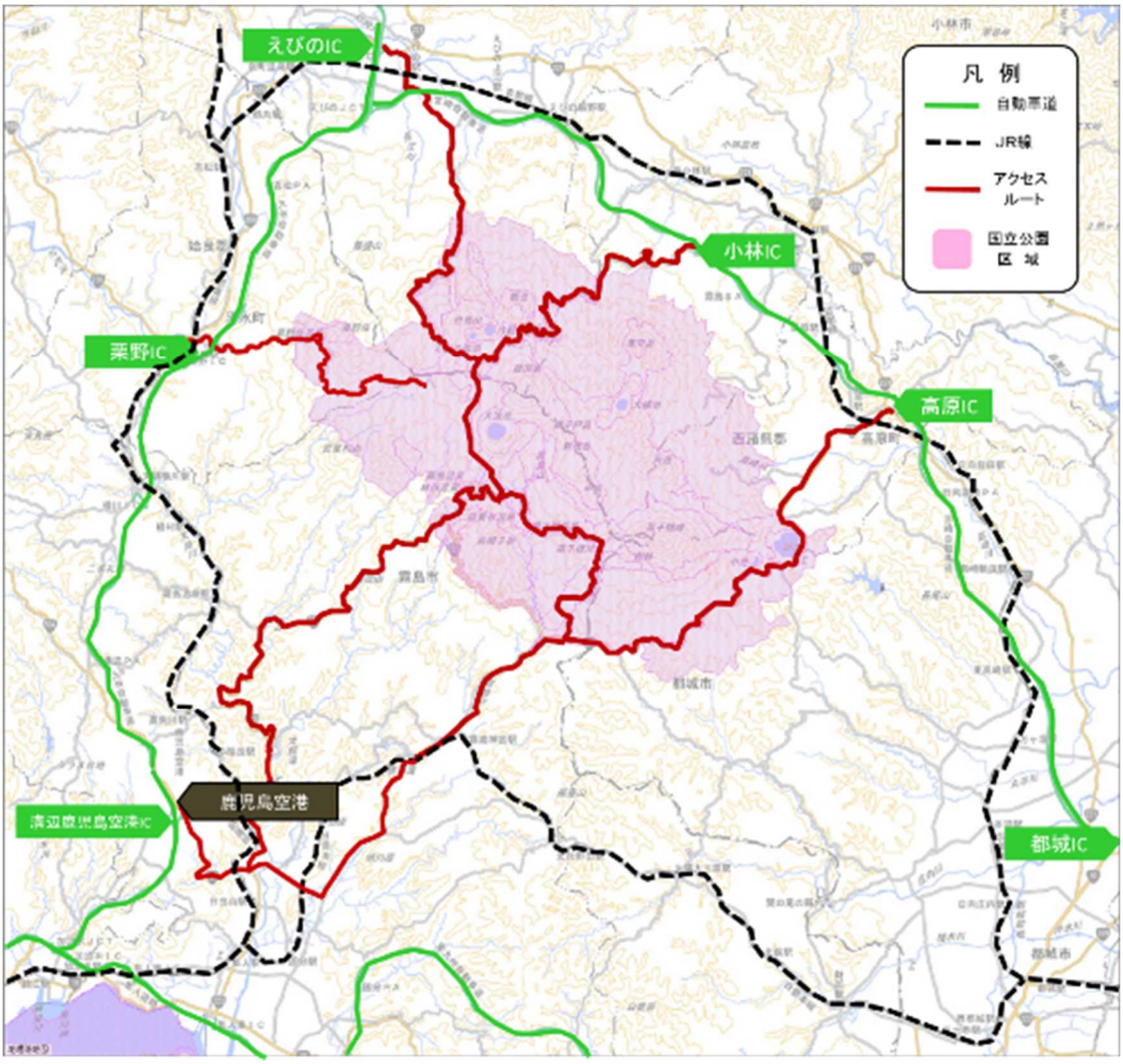
霧島地域は、九州自動車道と宮崎自動車道が分岐するえびの JCT に近接し、各 IC が取り巻くように配置されているため自動車道からのアクセスが良いことが特徴です。また、鹿児島空港から近いことに加え、霧島地域を取り巻くように JR 吉都線、肥薩線、日豊本線が通っていることから多様なアクセスルートが考えられます。しかし、現時点では各 IC、空港、各駅からの二次交通の少なさが課題となっています。

―国立公園までのアクセスルート―

・各自動車道 IC から主要道（国・県道）を通るルート
・鹿児島空港から主要道（国・県道）を通るルート

（参考）最寄り IC 及び駅

自動車道：えびの IC、栗野 IC、小林 IC、高原 IC、都城 IC、溝辺鹿児島空港 IC
JR 駅　：えびの駅、栗野駅、霧島温泉駅、霧島神宮駅、小林駅、高原駅、都城駅など



□桜島・錦江湾奥地域

桜島・錦江湾奥地域のうち桜島は、鹿児島中央駅、クルーズ船の寄港する鹿児島港から近く、桜島への入口となる鹿児島港フェリーターミナルへは、路線バスや路面電車等の公共交通機関で行くことができます。錦江湾内は 15 分から 30 分おきにフェリーが運航しており交通アクセスは良い状況です。また、錦江湾奥地域は、九州自動車道や東九州自動車道が取り巻き、自動車道からのアクセスは良好です。

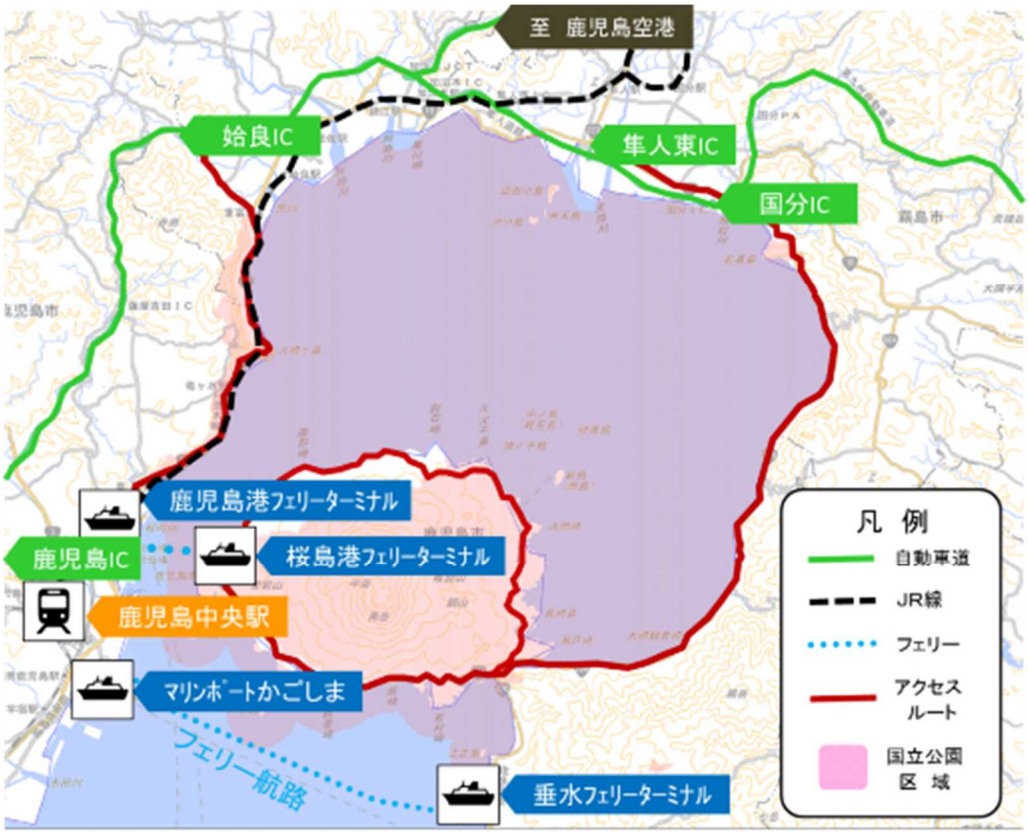
―国立公園までのアクセスルート―

・鹿児島港フェリーターミナルから定期船を利用するルート

・各自動車道 IC から主要道（国・県道）を通るルート

（参考）最寄り IC 及び駅

自動車道：鹿児島 IC、姶良 IC、隼人東 IC、国分 IC
JR 駅　：JR 各駅
港　　：（定期船）桜島港フェリーターミナル、垂水フェリーターミナル



□指宿・佐多地域

指宿・佐多地域は、鹿児島県の南に位置し，鹿児島空港から九州自動車道を経由してのアクセスや鹿児島中央駅から鉄道、バスを利用するアクセスが考えられます。指宿から佐多へは半島間を結ぶなんきゅうフェリー（山川港～根占港）が運航していることに加え、2017 年からは高速船の運航（指宿港～根占港）が開始し、あわせて根占港から佐多岬・雄川の滝等を巡る観光周遊バスも運行しているため、周遊のための利便性が少しずつ向上しています。

―国立公園までのアクセスルート―

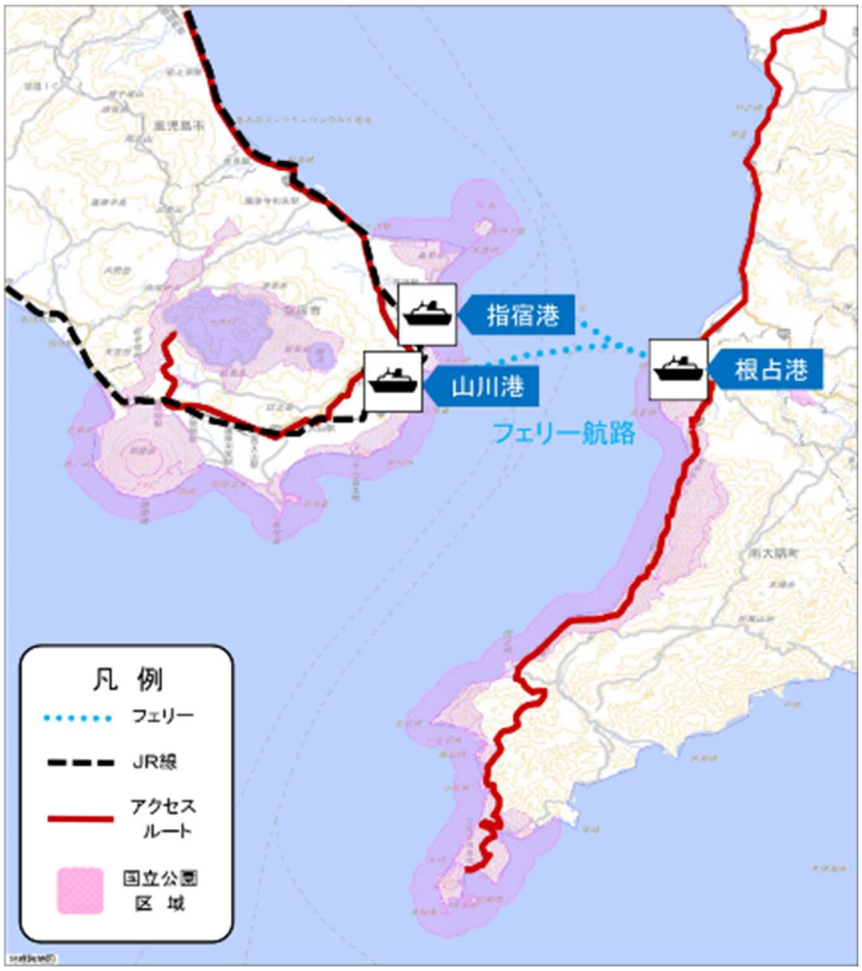
・鹿児島市内から指宿地域に向かう主要道（国・県道）を通るルート
・最寄り駅から主要道（国・県道）を通るルート
・鹿児島港南埠頭から高速船、指宿港と根占港の定期船を利用するルート
・根占港から佐多地域へ向かう主要道（国・県道）を通るルート

（参考）最寄り駅及び港

JR 駅：指宿駅、山川駅、開聞駅など

港　：（定期船）山川港、根占港

（高速船）鹿児島港南埠頭、指宿港、根占港



2）アクセスルートの取組方針

的確な情報発信

・観光案内板等の多言語化を実施し、外国人観光客への的確な情報発信ができる体制作りを検討します。

利便性の向上

・トイレ等のユニバーサルデザイン化や Wi-Fi 環境整備を実施し、外国人観光客が快適に過ごせる環境整備を検討します。

・主要交通拠点や最寄り駅等から国立公園へのアクセスを確保するため、レンタカーの設置や周

遊バスなど二次交通の改善を検討し利便性の向上に努めます。

・公園区域外の博物館や展望所、観光地などとつながり、巡ることができる周遊バスなどの開発を検討します。

・インバウンド対応型の観光タクシーの活用促進を検討します。

・車道や歩道の通行に支障のある区間の改良等を検討します。

まちなみ景観の整備

・国立公園に近づくにつれ、国立公園へ入る“結界感“を演出するため、景観改善等の取組を強化します。

・観光案内板等の統一や眺望を阻害する標識類の景観改善を検討します。

３）アクセスルート上で実施する事項

□霧島地域

<u>的確な情報発信</u>

・アクセスルート上に多言語の観光案内板等を設置します。
・IC や駅、空港における観光案内板等の設置（外国語表記・QR コード）、国立公園情報提供の充実（リニューアル）を実施します。
・火山情報などを的確に発信する情報板を設置します。

<u>利便性の向上</u>

・IC や JR 駅周辺に外国人観光客対応のレンタカー・レンタサイクルを設置します。
・アクセスルートとなる県道えびの高原小田線において、大型車の離合困難箇所を段階的に整備します。
・アクセスルート上における新たな展望所を白鳥温泉上湯付近に設置します。
・各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）のトイレ等のユニバーサルデザイン化及び Wi-Fi 整備等を実施します。
・鹿児島空港・宮崎空港・ＪＲ主要駅からの二次アクセスの改善（周遊バスの運行等）を実施・検討します。
・えびの高原などへの路線バスの誘致や充実に向け、鹿児島空港から霧島連山の中央部や霧島地域北部を通るバスの実証運行等を実施し、二次交通の改善に向けた取組を進めます。
・外国人観光客のアクセス拠点づくりについて検討します。
・2018 年 12 月現在、通行止めとなっている県道小林えびの高原牧園線の硫黄山周辺について、硫黄山の火山活動を注視しながら、交通開放に向けた検討を行います。

<u>まちなみ景観の整備</u>

・「美しい宮崎づくり推進条例」、景観条例・景観計画、屋外広告物条例に基づく、良好な景観の保全又は創出に向けた取組を推進します。
・アクセスルートとなる県道小林えびの高原牧園線の沿線について、屋外広告物の規制を強化します。
・松枯れ対策及び沿線の紅葉等植栽の実施を検討します。
・ポケットパーク等の展望スペースにおける景観阻害となる樹木の部分伐採等による適切な管理を実施します。
・沿線の廃屋の撤去や空き家対策について検討します。
・老朽化したホテルの改修を検討します。

<u>その他</u>

・鹿児島空港の空港展望デッキの展示等について検討します。

□桜島・錦江湾奥地域

的確な情報発信

・各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）の観光案内板等の多言語化を実施します。
・主要施設（桜島コンシェルジュセンター、桜島内主要展望所等）への観光情報・防災情報（火山活動、大雨、事故など）を入手できるデジタルサイネージを導入します。
・IC や駅、空港における案内看板の設置（外国語表記・QR コード）及び国立公園情報提供の充実（リニューアル）を実施します。

利便性の向上

・観光周遊バス、シャトルバスの運行を検討します。

（参考）実施済み：定期観光バスの運行（桜島自然遊覧コース等）、クルーズ運行、バス・フェリー等の一日乗車券の発行

・鹿児島空港・ＪＲ主要駅からの二次アクセスの改善を検討します（周遊バスの運行等）。
・各施設のタックスフリーシステムの導入について検討します。
・桜島を望む錦江湾ウォーターフロントの魅力向上策について検討します。
・各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）のトイレ等のユニバーサルデザイン化及び Wi-Fi 整備等を実施します。

（参考）Wi-Fi 整備実施済み：市定期観光バス、観光電車、桜島内の展望所、総合観光案内所（鹿児島中央駅、桜島フェリー）

その他

・よりみちクルーズ（鹿児島港～桜島港）との連携による活用について検討します。

□指宿・佐多地域

的確な情報発信

・各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）の観光案内板等の多言語化を実施します。
・IC や駅、空港における案内看板の設置（外国語表記・QR コード）及び国立公園情報提供の充実（リニューアル）を実施します。

利便性の向上

・既存バスの利便性の向上（増便等）を検討します。
・JR 指宿駅から市内主要観光地までを結ぶ観光に特化した周遊バス路線について検討します。
・鹿児島空港・ＪＲ主要駅からの二次アクセスの改善（周遊バスの運行等）を検討します。

・各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）のトイレ等のユニバーサルデザイン化及び Wi-Fi 整備等を実施します。
・交通施設等のバリアフリー化を検討します。

まちなみ景観の整備

・ポケットパーク等の展望スペースにおける展望の妨げになる障害物（屋外広告物、景観阻害木）の撤去を実施します。
・街路樹や花木の植栽、街灯の整備について検討します。

（3）国立公園内に係る事項

国立公園内では、課題を踏まえて取組方針を立てた上で、その方針に沿って国立公園全体で実施する取組、さらに「ビューポイント（重点取組地域）」を設定し、地域ごとに実施する取組を進めて行きます。

1） 取組方針

当国立公園の課題である「満足度の低さ」について、霧島錦江湾国立公園を訪れた訪日外国人にこれまで以上に快適かつ魅力的な時間を過ごしてもらい、旅行者の満足度を高めていくため、引き続き展望地の整備やビジターセンター等の利用環境の改善等の取組を継続して実施するとともに、「多言語対応の強化」「滞在型プログラムの充実」「２次交通環境の改善」「情報発信・案内の強化」の４分野の取組を強化・加速化していくことが極めて重要です。

また、「滞在時間の短さ」や「国立公園への誘導対策」については、より長く滞在してもらうための新たな魅力を創出する取組や利用環境の整備を進めることに加え、地域間や母都市との連携、国立公園や観光以外の行政機関・団体や各種ツーリズムの取組との連携、企業との連携を深めることも効果的です。

これら各種取組の実施に当たっては、実施主体の自己満足的な取組や日本人利用者のみを意識した取組ではなく、訪日外国人利用者目線に立った取組とすること、サスティナビリティ（持続可能性）を確保するため、長期的に環境保全や景観の向上につながる仕組みを検討すること、取組に関わる人材・団体の養成・確保を意識すること等が重要です。

＜魅力の創出＞

上質な宿泊施設の誘致

・地元自治体と連携し、ビューポイントにおいて上質な宿泊施設（グランピングを含む）の誘致を検討します。

ツアープログラム開発及びガイド育成

・各地域における既存の観光資源やアクティビティ、ガイド等の情報の棚卸しを行い、関係機関で共有する仕組みを検討します。
・地域の自然や文化を活かした魅力あるツアープログラムやアクティビティの開発をします。
・地域の自然や文化を活かした周遊ルートの設定やバスツアーの開発を検討します。
・雄大な景観を活かした遊覧飛行ツアーや遊覧船ツアーの開発を検討します。
・地域の自然や文化を外国人観光客に案内できる地元ガイドの育成を検討します。

地域一体となった取組

・関係者で連携した観光宣伝やパンフレットの作成及び配布場所の検討をします。
・各地域間を結ぶシャトルバスの実証運行やトレッキングルートの設定など、国立公園内で連携したツアープログラム開発の検討をします。

まちなみ景観の整備

・まちなみ景観の改善、統一した観光案内板等の整備を検討します。
・展望の妨げとなっている建物や看板等の改善により景観の向上を検討します。
・景観条例・景観計画、屋外広告物条例による良好な景観の保全及び創出の取組を実施します。（参考：「美しい宮崎づくり推進条例」）

＜滞在しやすい環境整備＞

多様なサービス提供のための民間活用

・ビジターセンターにツアーデスクを設置し、エコツアー等の手配ができるよう検討します。
・ビジターセンターでの物品の販売、トレッキング用品のレンタル等ができるよう検討します。

利用環境の整備

・観光施設や遊歩道等の観光案内板等の統一化、多言語化、IT 化や利用施設のユニバーサルデザイン化を進めます。
・ビューポイントなど主要地点に観光情報や防災情報等を入手するための Wi-Fi 環境の整備を進めます。
・観光拠点への外国人観光客への観光案内等の対応ができる人材の配置及び確保体制の検討を行います。
・アウトドアアクティビティー施設の充実を検討します。

利用者への安全対策

・避難施設やモーターサイレンの設置、携帯電話不感地帯の解消などを実施します。

2） 国立公園全体に係る事項

○国立公園全体において実施する事項

＜魅力の創出＞

まちなみ景観の整備

・展望地等で景観阻害木の伐採を行うなど景観の改善に取り組みます。
・屋外広告物条例による規制を実施します。

公園区域の見直し

・優れた風景地など国立公園への編入を検討・実施します（例：大隅南部県立自然公園「雄川の滝」）。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・施設内において、外国人観光客が楽しめる展示内容への更新や外国人観光客が利用しやすい露天風呂の整備について検討します。
・利用者（外国人観光客）目線に立った説明看板やベンチの設置、写真撮影を意識した看板等の設置を実施します。
・利用者に不安を感じさせないきめ細かな施設の管理、登山ルート等の観光案内板等の設置について検討します。
・各温泉郷及びJR各駅周辺の再整備について検討します。

多様なサービス提供のための民間活用

・霧島の風景を望める周遊観光列車・バスや霧島地域を縦貫するバスの検討・実証運行を実施します。
・国立公園内における割安な交通チケットを検討します。

3）ビューポイント（重点取組地域）に係る事項

① ビューポイントの設定

霧島錦江湾国立公園の各 3 地域の魅力は、2.(2)にて示す以下のとおりです。

・多様な火山地形と火山の恵み、神話と伝承を辿り楽しむ霧島地域

・陸から海から活火山桜島を間近に体験、雄大な桜島の眺望を楽しむ桜島・錦江湾奥地域

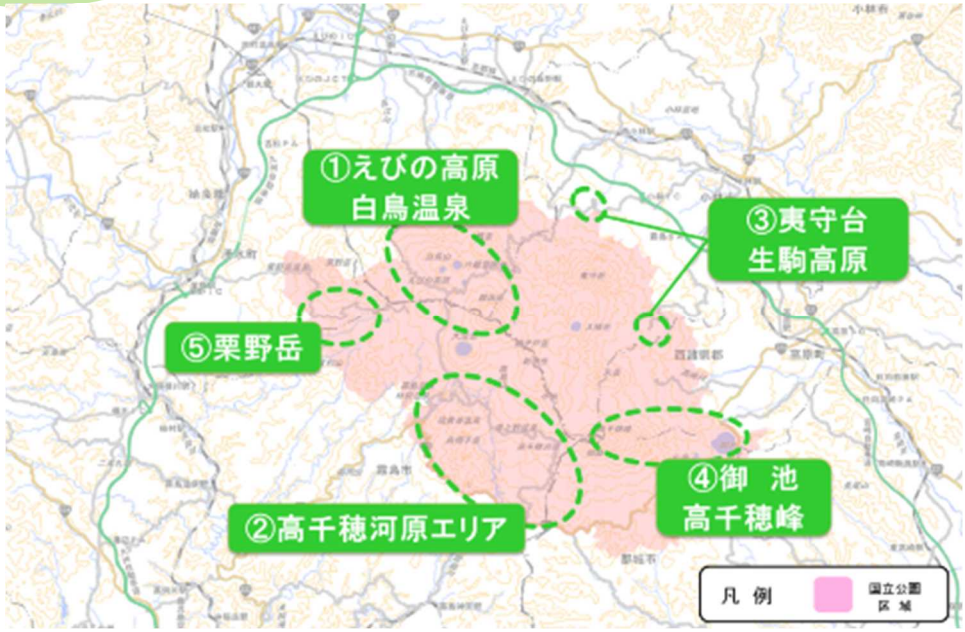
・多様な温泉と開聞岳の眺め、海岸の断崖景観と亜熱帯性植物の指宿・佐多地域

公園全体で進める取組に加え、今後、本ステップアッププログラムの取組を重点的に実施する地域を「ビューポイント」と定め、魅力を最大限に体験できる地域又は魅力をさらに引き延ばしたい地域を 3 地域から 9 地点設定しました。それぞれの地点では、＜魅力の創出＞や＜滞在しやすい環境整備＞に着目し、取組を進めます。

なお、今後取組を進める中で新たに重点的に取り組むべき地点等が明らかになってきた場合には、本設定についても見直すことがあります。

② ビューポイント等において実施する事項

■霧島地域　―多様な火山地形と火山の恵み、神話と伝承を辿り楽しむ―



① えびの高原・白鳥温泉

＜魅力の創出＞

上質な宿泊施設の誘致

・ホテル跡地やピクニック広場の活用を検討します（高級ホテルやグランピング施設の誘致など)。

ツアープログラム開発とガイド育成

・気軽に登れるトレッキングルートや四季折々の火口湖景観、貴重な野生動植物、温泉地獄や天然のサウナ、食、神話などの文化等を活かしたツアープログラムを開発します。
・火口湖での水上アクティビィティの開発を検討・実証します（スタンドアップパドルボート、カヌー、水遊び等)。
・長距離の登山コースやロングトレイルの開発を検討します。
・ガイド付き限定利用を検討します。
・公園外でのアウトドアアクティビティーとの連携を強化します。
・登山利用者の車両運搬（登山口～下山口）サービスの検討をします。

まちなみ景観の整備

・展望確保やノカイドウ保全のための抜き伐りを実施します。
・県道えびの高原小田線に加久藤カルデラを一望できる展望駐車場を白鳥温泉上湯付近に整備し、展望確保のための通景伐採を実施します。
・古くからの温泉街（京町温泉等）の景観改善について検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・えびのエコミュージアムセンター、えびの高原キャンプ村、白鳥温泉上湯及び白鳥温泉下湯の Wi-Fi 整備・国際化対応の強化を実施します。
・池めぐり周回コースや登山道の整備を進めます。
・キャンプ村、白鳥温泉の施設を外国人観光客、高齢者や車いす利用者にとっても利用しやすいようにユニバーサルデザインの観点等から改修するとともに、魅力ある温泉滞在プランの策定を検討します。
・県道えびの高原小田線の末永地区において大型車の離合困難箇所を段階的に整備します。
・火山ガスの立入り禁止柵など安全施設の適切な管理や、多言語による迅速な火山活動状況の情報を提供します。
・観光案内の核となる「道の駅」における観光案内や施設の充実、他の観光地との連携を検討します。
・えびの園地において効果的な土地活用を推進するとともに、外国人観光客が利用しやすいように改修を実施します。

・宮崎側からの二次アクセスの充実（路線バスや定期観光バスの誘致等）を検討します。
・えびのアウトドアビジターセンターを拠点としたアクティビティを実施します。
・2018 年 12 月現在、通行止めとなっている県道小林えびの高原牧園線の硫黄山周辺について、硫黄山の火山活動を注視しながら、交通開放に向けた検討を行います。

② 高千穂河原エリア

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・高千穂河原ビジターセンターにおけるツアーデスクの設置、登山用品等の物販、研修室等の整備を検討します。
・魅力ある登山ルートの整備を行い、登山競技会場としての誘致を検討します。
・トレッキングコースとともに、ウォーキングコースである森林セラピーロードやオルレコースなど、多様なプログラムを併用し、温泉とマッチングさせた健康的プログラムの開発とプロモーションを行います。
・丸尾・霧島温泉郷のホテル等において、周辺利用のコンシェルジュ機能の設置について検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・防災や火山博物館機能を備えたビジターセンターの整備・改修を検討します。
・新燃岳の噴火以降、閉鎖している野営場について、民間活用によるグランピング施設の導入の可能性も含めて検討します。
・噴火に伴う規制範囲内で登山できるルートの整備を検討します。
・各登山道における利用環境の向上（携帯トイレに関する案内やトイレブースの設置、登山口の駐車場整備等）を検討します。
・霧島山や桜島等が眺望できる展望所の設置を検討します。
・広域の案内マップを作成します。
・高千穂峰登山をする外国人旅行者向けのセルフガイド機器を導入します。
・周辺でアウトドアが楽しめる宿泊施設の整備を検討します。
・外国人観光客に対応した温泉施設の整備等について検討します。
・年間約 750 万人が訪れる霧島神宮周辺の開発により、滞在型観光と周辺への波及効果を高める取組を検討します。
・霧島神水峡遊歩道の延長及び再整備を検討します。
・大浪池に休憩所を整備します。

③ 夷守台・生駒高原

＜魅力の創出＞

上質な宿泊施設の誘致

・上質な宿泊施設の誘致活動を実施します。

ツアープログラム開発とガイド育成

・雄大な自然や美しい夜空、四季折々の花を活かしたキャンプや散策プログラムを開発します。
・大幡山、大幡池、夷守岳や巨樹の森を巡るトレッキングツアーやエコツアーを開発します。
・森の中を走るクロスカントリーコースやテニスコート等を活かした大自然の中でのスポーツプログラム開発や国際大会の誘致を検討します。
・小林の湧水（清流）や蛍、渓流魚やキャビア等を活かしたツアープログラムの開発を検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・ひなもり台県民ふれあいの森の利用施設の老朽化に伴う改修を実施します（木製遊具やウッドデッキなど)。
・九州唯一の４つ星オートキャンプ場である夷守台や生駒高原への案内看板の充実を検討します。
・夷守岳や大幡山への登山口の整備を実施します（駐車場、案内板、トイレ、登山口までのアクセス道)。

④ 御池・高千穂峰

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・登山と神話をミックスさせたツアープログラムを開発します。
・野鳥の森や巨樹、高濃度の炭酸温泉等の地域資源を活かしたツアープログラムを開発します。
・周辺の主要観光地点を結ぶシャトルバスの運行を検討します。
・御池を活用した水上アクティビィティプログラムの開発を検討します（スタンドアップパドルボート、水上ボート、カヌー、ウェイクボード等)。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・九州自然歩道の御池周回コースの歩道のユニバーサルデザイン化、新規周回ルートの整備を実施します。

・御池キャンプ村の改修、アクティビィティ施設を整備します（ボルダリングなど)。
・皇子港園地への進入路の改良、駐車場整備を実施し、廃屋の撤去、カフェ等の誘致に取り組みます。
・皇子原公園にビジターセンターの設置を検討します。
・高千穂峰の天孫降臨コース登山口（第五砂防ダム）に展望所の設置を検討します。
・高千穂峰山頂避難小屋横の改修及び利活用方法の検討をします。

⑤栗野岳

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・外国人観光客を対象としたエコツアーの開発について検討します。
・外国語に堪能な地元ガイドの養成を検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・栗野岳レクリエーション村の施設整備（トイレ、駐車場、オートキャンプ等）を検討します。
・八幡地獄散策道の整備を実施します。
・栗野岳登山道の新規ルート整備を検討します。
・霧島アートの森との連携について検討します。
・トイレなどのユニバーサルデザイン化、指導標の多言語化について検討します。

■桜島・錦江湾奥地域

―陸から海から活火山桜島を間近に体験、雄大な桜島の眺望を楽しむ―

① 桜島

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・桜島でしか体験できない、天然温泉堀り、桜島火山体感ツアー、溶岩ミニトレッキング、桜島ナイトツアーを含む「桜島火山体験」プログラムなど既存メニューの外国人観光客への対応や磨き上げについて検討します。

・ダイナミックな桜島の魅力を体験できるオープンバスを運行します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・桜島ビジターセンターの案内板の多言語化を図るとともに、展示内容を外国人観光客が利用できる体験型展示へリニューアルすることを検討します。

・溶岩なぎさ遊歩道の再整備を検討します。

・黒神町溶岩河原、ビュースポットの駐車場整備について検討します。

・桜島島内におけるフットパス等について検討します。

・有村展望所付近の大型バス用駐車場等を整備します。
・新桜島港フェリーターミナルの開設に伴い、多言語対応可能なコンシェルジュデスクや魅力的なカフェを設置します。
・フェリーターミナルや船内にデジタルサイネージを設置します。

二次交通の確保

・桜島の自然や成り立ち等を満喫できるような、島内の施設等を周遊するバス（桜島一周）運行を検討します。

② 主要展望地

＜魅力の創出＞

・すぐれた展望地の再整備や設定について検討します。

・重富海岸

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・自然の干潟を活かした体験ツアーや体験プログラムを設定します。
・外国語に堪能な地元ガイドの養成を検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・指導標の多言語化、音声ガイドによる環境整備について検討します。
・大型バスに対応した駐車場を整備します。
・重富海岸までの誘導標識の設置や Wi-Fi 環境の整備を実施します。
・重富海岸自然ふれあい館の展示を改修し、国際化対応を強化します。

・高峠

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・現状ルートの改修や新ルートの開設など登山道の整備について検討します（園内ウォーキングルートに自動カート導入及びカートに合わせた道路拡大等）。
・展望所など園内建物の再整備を検討します。

・眺望の支障となる樹木の伐採を検討します。
・観光案内板等の多言語化や Wi-Fi 環境の整備について検討します。
・オルレ初心者等を対象としたプチオルレコース（九州オルレ）の掲載について検討します。
・鹿児島県アジア太平洋農村研修センターとの連携を検討します。

・仙巌園

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・園内からの眺望時の支障となる電線等の地中化を検討します。

・若尊鼻

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発

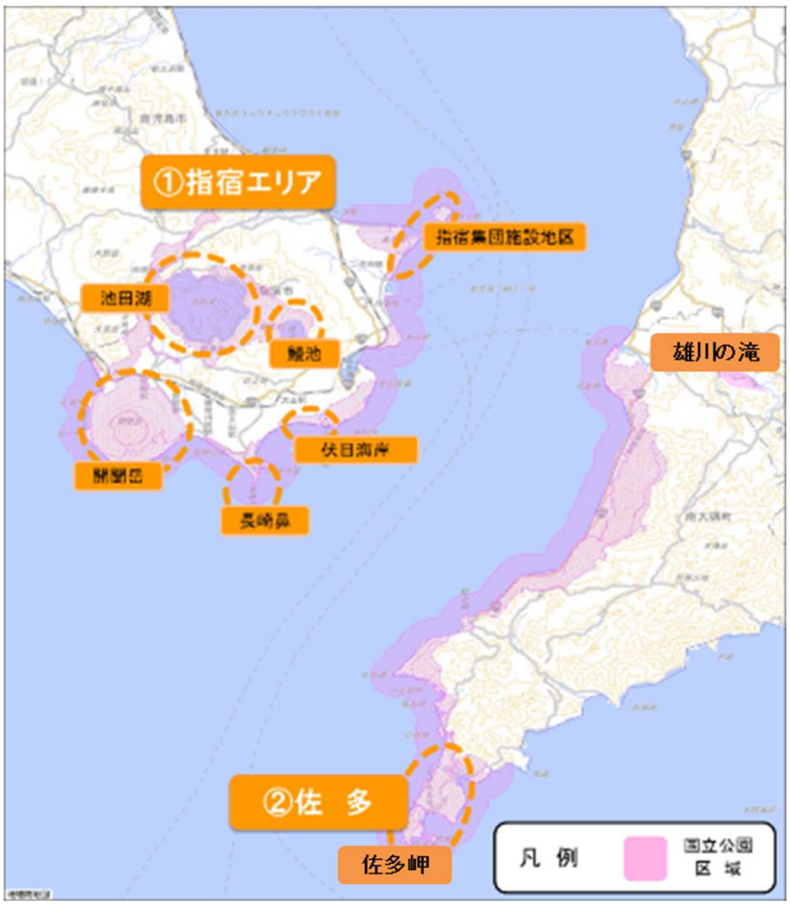
・「たぎり」のカヤック体験観察における外国人観光客への対応について検討します。
・若尊鼻遊歩道の活用と黒酢関連施設との連携について検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・若尊鼻遊歩道の未整備区間の整備を検討します。

■指宿・佐多地域 ―多様な温泉と開聞岳の眺め、海岸の断崖景観と亜熱帯性植物―



① 指宿エリア

＜魅力の創出＞

指宿エリア内の連携

・水と緑を感じることができるサイクリング・ウォーキングロードの整備（指宿～池田湖～開聞岳等を結ぶルート）を検討します。

・唐船峡周辺等との周遊ルートの整備について検討します。

・周回道路の検討をします。

・指宿集団施設地区

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・ガイド育成及びガイドツアーを造成します。

・マリンスポーツ等体験型観光プログラムの充実を検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・ガイド詰所やカヤック等の保管庫、案内拠点・休憩施設としての施設整備を検討します。
・知林ヶ島の砂州入口までのスロープ化（遊歩道）の延長、案内板の整備、遊歩道のボードウォーク化、砂浜用車いす（ランディーズ）の貸出しによるバリアフリー対応について検討します。
・指宿園地、野営場を外国人観光客が利用しやすいように改修します。
・指宿園地・野営場再整備（老朽化対策、ユニバーサルデザイン・国際化対応等）を行います。

・開聞岳

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・体験型観光の充実について検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・登山道の見晴らしのよい箇所においてベンチ等の休憩施設の整備や通景伐採を検討します。
・周回道路を活用した活性化を検討します。

・池田湖

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・体験・滞在型商品（ナイトイベント等）の造成について検討します。
・水上アクティビティの充実に取り組みます。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・廃屋等の撤去について検討します。
・観光客の写真撮影スポットにおける護岸の整備について検討します。
・オープンカフェや土産物を備えた施設を整備します。
・オオウナギ、池田湖の生態系等の展示施設の整備について検討します。
・湖面を渡るそよ風、水とふれあう環境整備（桟橋の整備）について検討します。

・長崎鼻

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・駐車場から竜宮神社、灯台までのスロープ化によるバリアフリー対応を検討します。
・竜宮伝説にちなんだ観光開発を検討します。

・鰻池

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・地元ガイドやコンシェルジュの育成をします。

・スメを活用したガイドツアーを実施します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・観光客及び地元住民の交流拠点や集落内道路、駐車場を整備します。

・地熱やスメを活用した観光開発を検討します。

・伏目海岸

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・塩田跡地及び噴気の活用を検討します。

② 佐多エリア

・佐多岬

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・ガイド付きで入れる区域（佐多岬灯台周辺）を設定し、ガイドの養成を検討します。

地域一体となった取組

・自転車競技の盛んな大隅半島とサイクルシティ（南さつま市）と連携したサイクルロードの設定について検討します。

・佐多岬と雄川の滝を結ぶ観光ルートを設定します。

公園区域外の連携

・佐多岬と近接する大隅南部県立自然公園などを結ぶ観光ルートの設定を検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・佐多岬線ロードの整備（ウェルカムアーケード、線形改良、駐車場の整備等）を行います。

・佐多岬線ロード終点に観光案内所を整備します。
・佐多岬から大泊地区間におけるポケットパーク等の展望スペースの景観阻害木の除去について検討します。
・イベント及び地産来消に向けた施設整備等(佐多岬マラソン及びシーカヤック等のマリンスポーツ)の実施を検討します。
・観光客や地元住民交流拠点の整備を検討します。
・佐多岬園地の整備を実施します（展望台、園路、広場)。
・観光案内所や展望台において Wi-Fi 環境を整備するとともに、カフェスペース等を設置します。
・駐車場利用料を導入し、トイレ、観光案内所等の施設の維持管理やサービス向上、環境保全につながるような「持続的な利用と保全」の仕組みを検討します。
・多言語に対応した観光案内板や施設等看板を設置します。
・佐多岬線ロードの入口にあたる大泊地区に魅力的な野営場を整備するとともに、宿泊施設やレストランの誘致に取り組みます。

・雄川の滝

＜魅力の創出＞

ツアープログラム開発とガイド育成

・ガイドの養成を検討します。

地域一体となった取組

・佐多岬と雄川の滝を結ぶ観光ルートを設定します。

公園区域外の連携

・雄川の滝と近接する大隅南部県立自然公園などを結ぶ観光ルートの設定を検討します。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・駐車場、トイレ、遊歩道を整備します。
・民間事業者と連携して遊歩道入口に魅力的なカフェ・売店を設置します。
・多言語に対応した観光案内板や施設等看板の設置を検討します。
・アクセス道の混雑緩和や待ち時間の発生回避のための仕組みを検討します。
・駐車場利用料を導入し、トイレ、遊歩道等の施設の維持管理やサービス向上、環境保全につながるような「持続的な利用と保全」の仕組みを検討します。

（4）国立公園内外問わず、地域一体となって実施する事項

＜魅力の創出＞

地域一体となった取組

・九州自然歩道、九州オルレ、フットパスなど、遊歩道関係の連絡会議と連携し、ゆっくり歩いて楽しむプログラムを開発します。

・桜島・錦江湾ジオパーク、霧島ジオパーク、環霧島会議、錦江湾奥会議等の取組と連携した施設整備・利用環境の改善を進めます。

・民泊、農泊、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム、ガストロノミーツーリズム等、各種ツーリズムと具体的な連携を図ります。

＜滞在しやすい環境整備＞

利用環境の整備

・外国人観光客が気軽に買い物等ができるよう観光案内施設や宿泊施設、土産物屋等で、免税の実施やキャッシュレス決済可能な設備の充実を検討します。

・国立公園外の主要な交通拠点・交通結節点と国立公園内を結ぶ二次交通アクセスの確保を図るとともに、滞在型コンテンツの造成、誘客・プロモーションの促進に一体的に取り組みます。

＜そ　の　他＞

地域住民等への働きかけ

・新規国際線就航を目指す際に重要となるアウトバウンド増を達成するため、地域住民へのパスポートの取得推進や助成、海外での修学旅行実施を推進します。

・地域一体となった効果的なプロモーションを実施するため、地域で開催される各種イベントにおいて、霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知します。

企業・民間事業者との連携

・国立公園オフィシャルパートナー企業のほか、公園事業者や地域の民間事業者と連携し、具体的な事業を実施します。

環境教育の推進

・国立公園の保護と利用（親しみ方）について学び、後世に繋ぐ教育環境づくりや小中校生の英語力強化対策について検討します。

（5）スケジュール

東京オリンピックが開催される 2020 年を見据えつつ、九州各地でラグビーワールドカップと女子ハンドボール世界選手権が開催される 2019 年に向けて施策の強化を図ります。

※詳細は、別紙のとおり

５．効果検証

（１） 霧島錦江湾国立公園訪日外国人利用者数

・主な数値目標である霧島錦江湾国立公園の「訪日外国人利用者数」については、環境省の「国立公園別訪日外国人実利用者数推計値」等を用いて検証します。

（２） 個別事項

・個別目標である「鹿児島県及び宮崎県への訪日外国人宿泊者数の増加」については、観光庁の統計（宿泊旅行統計調査）を用いて検証します。
・個別の取組については、各施設の利用者数や各スポットへの入込者数を用いて検証します。
・利用者アンケート等によって、国立公園での訪日外国人旅行消費額、国立公園周辺外国人平均宿泊日数、国立公園での外国人リピーター率（２回目～）、満足度（「大変満足」の割合）を把握し、本プログラムの実施状況に対する訪日外国人の「質」や「満足度」に係る評価等を行います。
・利用者アンケート等によって、分野ごとの満足度を把握し、強化すべき取組を抽出します。
・プログラムの実施により自然資源が損なわれる恐れが想定される場合は、自然資源保全のための計画策定を検討します。
・旅行会社に対しアンケート等を実施し、国立公園を活用したツアープログラムに関する実施状況を把握します。このアンケート等により、利用過多によって観光資源が損なわれていないか状況を把握することに加え、必要に応じて各種資源の持続的な利用に向けたガイドライン（利用ルール）設定を検討します。

６．進捗管理とプログラムの改訂

本プログラムは、今後、行政や民間等の関係者が連携し、これから検討していく取組の方向性を示したものであり、今後も霧島錦江湾地域協議会の体制を維持し、年１回程度の協議会の開催に加え、随時部会等で各取組の状況等を踏まえて評価・議論を行います。またそれらの結果は本ステップアッププログラムの改訂や翌年度の取組に反映させていくこととします。（2019 年１月に改訂）

参　考

国立公園満喫プロジェクト　霧島錦江湾地域協議会　設置要綱

平成 28 年９月８日　施行
平成 31 年１月●日　改訂

（目的）
第１条　国立公園の美しい自然を活かし、より上質な体験を提供することにより、世界水準の「ナショナルパーク」へと改革していく国立公園満喫プロジェクトを霧島錦江湾国立公園において推進するための具体的なプログラム（以下「ステップアッププログラム 2020」という。）を策定し、実施していくことを目的に、関係機関の相互の連携を図るため、霧島錦江湾地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議事項）
第２条　協議会は、以下に掲げる事項を協議する。
（１）霧島錦江湾国立公園及びその関連地域における国立公園満喫プロジェクトの推進に関する事項
（２）「ステップアッププログラム 2020」の策定及び実施に関する事項
（３）その他、前条の目的を達成するために必要と認められる事項

（構成員）
第３条　協議会は、別表に掲げる関係機関等をもって構成する。
２　協議会は、必要に応じアドバイザーを招集することができる。

（会議）
第４条　会議は、必要に応じて事務局が招集する。
２　議事は、事務局において進行する。

（地域部会）
第５条　霧島錦江湾国立公園の霧島地域、桜島・錦江湾奥地域及び指宿・佐多地域、並びにその関連地域における具体的な事項を検討するため、霧島地域部会、桜島・錦江湾奥地域部会及び指宿・佐多地域部会を設置する。
２　霧島地域部会では、次の事項について所掌する。
（１）「ステップアッププログラム 2020」のうち霧島地域及びその関連地域に関する事項の検討
（２）「ステップアッププログラム 2020」のうち霧島地域及びその関連地域に関する事項の推進
３　桜島・錦江湾奥地域部会では、次の事項について所掌する。
（１）「ステップアッププログラム 2020」のうち桜島・錦江湾奥地域及びその関連地域に関する事項の検討
（２）「ステップアッププログラム 2020」のうち桜島・錦江湾奥地域及びその関連地域に関する事項の推進
４　指宿・佐多地域部会では、次の事項について所掌する。
（１）「ステップアッププログラム 2020」のうち指宿・佐多地域及びその関連地域に関する事項の検討
（２）「ステップアッププログラム 2020」のうち指宿・佐多地域及びその関連地域に関する事項の推進

（事務局）
第６条　協議会の事務局は、宮崎県環境森林部、鹿児島県環境林務部及び九州地方環境事務所に置く。

第７条　各地域部会の事務局は、該当県及び九州地方環境事務所に置く。

（その他）
第８条　この要綱に定めるもののほか、地域部会の運営に関し必要な事項は各地域部会の事務局において定め、その他、協議会の運営に関し必要な事項は協議会の事務局において定める。

1　附　則　この要綱は、平成 28 年９月８日から施行する。

2　附　則　この要綱は、平成 31 年１月●日から施行する。

別表

国立公園満喫プロジェクト　霧島錦江湾地域協議会構成員

構成員		
国	九州農政局	農村振興部地方参事官
	九州森林管理局	計画保全部長
	九州地方整備局	企画部長
	九州運輸局	観光部長
	九州地方環境事務所	所長
県	宮崎県	環境森林部長 商工観光労働部長
	鹿児島県	環境林務部長 ＰＲ・観光戦略部長
地方自治体	都城市	市長
	小林市	市長
	えびの市	市長
	高原町	町長
	鹿児島市	市長
	指宿市	市長
	垂水市	市長
	曽於市	市長
	霧島市	市長
	姶良市	市長
	湧水町	町長
	南大隅町	町長
民間	(一社)九州観光推進機構	専務理事事業本部長
	(公財)みやざき観光コンベンション協会	会長
	(公社)鹿児島県観光連盟	専務理事
	鹿児島県旅行業協同組合	旅行事業部長

別紙　ステップアッププログラム2020における関連事業スケジュール

（1）国立公園への誘導策・プロモーションに係る事項

※赤字が修正点。灰色網掛け欄は「検討終了」「実施済み」の項目。予定時期の実線は実施事項、破線は検討事項。

	実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
				2016	2017	2018	2019	2020
STEP1 「興味を持ってもらう」	・2019年9月開催のラグビーワールドカップに訪れる欧米人や2020年の東京オリンピック・パラリンピックにあわせて九州を訪れる外国人観光客に対して、国立公園への誘致対策を実施~~検討~~	環境省	実施予定				←→	←→
	・鹿児島空港及び宮崎空港~~で運航に運行~~する海外定期路線就航地への積極的なプロモーションやセールスを行うことによる海外定期路線の維持・拡充~~とともに、新たな海外路線への臨時便運行や定期路線強化へ~~の取組を実施~~検討~~	各構成員	実施中		←→	←→	←→	←→
	・九州北部地域における主要交通拠点となる空港や港での国立公園のプロモーションを実施~~検討~~	環境省	実施予定				←→	←→
	・霧島地域をミシュラン・グリーンガイドの星付き観光地としての評価を得ることを、霧島地域部会の一つの目標とすることを検討	霧島部会構成員	検討予定		←- - -	- - -	- - -	- - - →
	~~・海外の現地旅行会社を招請し、国立公園満喫ツアーの造成意見をもらうモニターツアーの実施を検討（下の欄に統合）~~	~~環境省~~						
	・海外向けメディアや有力ブロガー、旅行会社等を招請し、国立公園の各コンテンツの改善意見をもらうとともに、国立公園の魅力について海外へ情報発信してもらう~~ことを検討~~ためのファムトリップやビジネスマッチング会議を実施	環境省	実施済み		←→	←→		
	・ツーリズムEXPOや各種商談会などに参加し、国内外の旅行会社・OTA（Online Travel Agent）等へのアプローチを実施	環境省	実施中		←→	←→	←→	←→
	・国立公園オフィシャルパートナーの企業・団体等と連携してプロモーション活動を推進	環境省	実施中		←→	←→	←→	←→
	・国内外の登山用品店等でのプロモーションキャンペーンの展開を検討	環境省	検討予定				←- - -	- - - →
	・日本のガイドブックなどを外国向けに出版している企業へのアプローチを実施	環境省	実施予定				←→	←→
STEP2 「行ってみようと思ってもらう」	ホームページ・看板・パンフレット等による広報							
	・国や九州全体として取り組むプロモーションと連携して、外国人観光客へ向けて国立公園のオウンドメディア・サイトの構築を検討	環境省	検討中			←- - -	- - -	- - - →
	・国立公園の魅力をFacebookやInstagramのようなSNSで定期的、日常的に発信	環境省・宮崎県・鹿児島県	実施中	←→	←→	←→	←→	←→
	・自治体等の既存の観光サイトで、動画等を活用した国立公園の魅力に関する情報発信を実施~~検討~~	各構成員	実施中		←→	←→	←→	←→
	・共通の認識のもとでのマークの使用や、統一した多言語表記の看板を作製	環境省	実施中			←→	←→	←→
	・多言語による広報・案内・解説文の質・内容の改善・向上を図るため、ネイティブライター等による既存媒体のチェック・修正や新規媒体の執筆・整備を推進	各構成員	実施中			←→	←→	←→
	・交通インフラの結節点・乗り換え等の分かるシステムの構築とパンフレットなどでの情報発信を検討	各構成員	検討中	←- - -	- - -	- - -	- - -	- - - →
	イベントの開催にあわせた情報発信							
	・霧島えびの高原エクストリームトレイルの海外選手に、SNSで情報発信を依頼	民間事業者	実施中		←→	←→	←→	←→
	・~~2018年に~~霧島1周ウルトラマラソンの開催を検討	霧島部会構成員	検討予定				←- - -	- - - →
	・CIR（国際交流員）等外国人~~人~~材を活用した観光・イベントの発信を実施	各構成員	実施中		←→	←→	←→	←→
	・霧島国際音楽祭及び霧島ジオパークの取組と連携した情報発信を進める	霧島部会構成員	実施中		←→	←→	←→	←→
	・地域で開催される各種イベントにおいて、霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知し、地域一体となった効果的なプロモーションを推進	各構成員	実施中	←→	←→	←→	←→	←→
	交通インフラサービスの充実							
	・高速道の良好なアクセスを活かした外国人観光客向けのドライブキャンペーンを九州レンタカードライブ協議会と連携して実施~~（高速道路定額乗り放題券の発行やドライブマニュアルの作成など）~~	各構成員	実施予定				←→	←→
	・鹿児島県や宮崎県へ寄港するクルーズ船の誘致を促進	鹿児島県・宮崎県	実施中	←→	←→	←→	←→	←→
	・チケットクーポン事業等による周遊性の向上を検討	各構成員	検討中			←- - -	- - -	- - - →

	取組方針	実施する事項	検討主体/実施主体	実施状況	検討・実施予定時期（年度）				
					2016	2017	2018	2019	2020
霧島地域	的確な情報発信	アクセスルート上に多言語の観光案内板等~~の~~を設置~~を検討~~	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
		ICや駅、空港における観光案内板等の設置（外国語表記・QRコード）、国立公園情報提供の充実（リニューアル）~~を検討~~	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
		火山情報などを的確に発信する情報板~~の~~を設置~~を検討~~	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
	利便性の向上	ICやJR駅周辺に外国人観光客対応のレンタカー・レンタサイクルの設置	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
		アクセスルートとなる県道えびの高原小田線において、大型車の離合困難箇所を段階的に整備	宮崎県	実施中	←	—	—	—	→
		アクセスルート上における新たな展望所を白鳥温泉上湯付近に~~の~~設置	宮崎県・えびの市	実施済み		←	→		
		各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）のトイレ等のユニバーサルデザイン化及びWi-Fi整備等を実施検討	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
		鹿児島空港・宮崎~~ブーゲンビリア~~空港・ＪＲ主要駅からの二次アクセスの改善整備（周遊バスの運行等）を実施・検討	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
		えびの高原などへの路線バスの誘致や充実に向け、鹿児島空港から霧島連山の中央部や霧島地域北部を通るバスの実証運行等を実施~~を検討~~し、二次交通の改善に向けた取組を推進	環境省・九州運輸局・霧島部会構成員	実施中			←	—	→
		外国人観光客のアクセス拠点づくりについて検討	霧島部会構成員	検討中		←	- -	- -	→
		2018年12月現在、通行止めとなっている県道小林えびの高原牧園線の硫黄山周辺について、硫黄山の火山活動を注視しながら、交通開放に向けて検討	宮崎県	検討中			←	- -	→
	まちなみ景観の整備	「~~（仮称）~~美しい宮崎づくり推進条例~~（平成29年4月施行予定）~~」、景観条例・景観計画、屋外広告物条例に基づく、良好な景観の保全又は創出に向けた取組の推進	宮崎県、小林市、都城市	実施中	←	—	—	—	→
		アクセスルートにおける屋外広告物の規制強化（県道小林えびの高原牧園線）	宮崎県	実施済み		←	→		
		松枯れ対策及び沿線の紅葉等植栽の実施について検討	霧島部会構成員	検討中		←	- -	- -	→
		ポケットパーク等の展望スペースにおける景観阻害となる樹木の部分伐採等による適切な管理を実施検討	霧島部会構成員	実施中		←	—	—	→
		沿線の廃屋の撤去や空き家対策について検討	霧島部会構成員	検討中		←	- -	- -	→
		老朽化したホテルの改修を検討	霧島部会構成員	検討中		←	- -	- -	→
	その他	鹿児島空港の空港展望デッキの展示等について検討	霧島部会構成員	検討中		←	- -	- -	→

	取組方針	アクセスルート上で実施する事項	検討主体/実施主体	実施状況	検討・実施予定時期（年度）				
					2016	2017	2018	2019	2020
桜島・錦江湾奥地域	的確な情報発信	各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）の観光案内板等の多言語化~~について検討~~	桜島・錦江湾奥部会構成員	実施中		←	—	—	→
		主要施設（桜島コンシェルジュセンター、桜島内主要展望所等）への観光情報・防災情報（火山活動、大雨、事故など）を入手できるデジタルサイネージ~~を~~の導入~~を検討~~	鹿児島市	実施済み		←	—	—	→
		ICや駅、空港における案内看板の設置（外国語表記・QRコード）~~、空港展望デッキ~~及び国立公園情報提供の充実（リニューアル）~~を検討~~	桜島・錦江湾奥部会構成員	実施中		←	—	—	→
	利便性の向上	観光周遊バス、シャトルバスの運行について検討	桜島・錦江湾奥部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
		鹿児島空港・ＪＲ主要駅からの二次アクセスの改善整備を検討（周遊バスの運行等）	桜島・錦江湾奥部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
		各施設のタックスフリーシステムの導入について検討	桜島・錦江湾奥部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
		桜島を望む錦江湾ウォーターフロントの魅力向上策について検討	鹿児島県・鹿児島市	検討中		←	- - -	- - -	→
		各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）のトイレ等のユニバーサルデザイン化及びWi-Fi整備等~~を実施について検討~~	桜島・錦江湾奥部会構成員	実施中		←	—	—	→
	その他	よりみちクルーズ（鹿児島港～桜島港）との連携による活用について検討	鹿児島市	検討中		←	- - -	- - -	→

	取組方針	アクセスルート上で実施する事項	検討・実施主体	実施状況	検討・実施予定時期（年度）				
					2016	2017	2018	2019	2020
指宿・佐多地域	的確な情報発信	各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）の観光案内板等の多言語化~~を検討~~	指宿・佐多部会構成員	実施中		←	—	—	→
		ICや駅、空港における案内看板の設置（外国語表記・QRコード）~~、空港展望デッキ~~及び国立公園情報提供の充実（リニューアル）~~を検討~~	指宿・佐多部会構成員	実施中		←	—	—	→
	利便性の向上	既存バスの利便性の向上（増便等）について検討	指宿・佐多部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
		JR指宿駅から市内主要観光地までを結ぶ観光に特化した周遊バス路線の検討	指宿市	検討中		←	- - -	- - -	→
		鹿児島空港・ＪＲ主要駅からの二次アクセスの改善整備を検討（周遊バスの運行等）	指宿・佐多部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
		各施設（主要交通拠点地等及び移動手段）のトイレ等のユニバーサルデザイン化及びWi-Fi整備等~~を実施について検討~~	指宿・佐多部会構成員	実施中		←	—	—	→
		交通施設等のバリアフリー化の検討	指宿・佐多部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
	まちなみ景観の整備	ポケットパーク等の展望スペースにおける展望の妨げになる障害物（屋外広告物、景観阻害木）の撤去~~を実施について検討~~	指宿・佐多部会構成員	実施中		←	—	—	→
		街路樹や花木の植栽、街灯の整備について検討	指宿・佐多部会構成員	検討中		←	- - -	- - -	→

	実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
				2016	2017	2018	2019	2020
国立公園全体	まちなみ景観の整備							
	・展望地等で景観阻害木の伐採を行うなど景観の改善に取り組むことの検討	各構成員	実施中		←	—	—	→
	・屋外広告物条例による規制の実施	宮崎県・鹿児島県	実施中	←	—	—	—	→
	公園区域の見直し							
	・優れた風景地など国立公園への編入を検討・実施（例：大隅南部県立自然公園「雄川の滝」）	環境省	実施済み		←	→		
	利用環境の整備							
	・施設内において、外国人観光客が楽しめる展示内容への更新や外国人観光客が利用しやすい露天風呂の整備について検討	各構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
	・利用者（外国人観光客）目線に立った説明看板やベンチの設置、写真撮影を意識した看板等の設置について検討	各構成員	実施中		←	—	—	→
	・利用者に不安を感じさせないきめ細かな施設の管理、登山ルート等の観光案内板等の設置について検討	各構成員	実施中		←	—	—	→
	・各温泉郷及びJR各駅周辺の再整備について検討	各構成員	検討中		←	- - -	- - -	→
	多様なサービス提供のための民間活用							
	・霧島の風景を望める周遊観光列車・バスや霧島地域を縦貫するバスの検討・実証運行を実施の開発の検討	環境省・九州運輸局・霧島部会構成員・霧島市	実施中		←	—	—	→
	・国立公園内における割安な交通チケットの検討	各構成員	検討中		←	- - -	- - -	→

ビューポイント		実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
					2016	2017	2018	2019	2020
霧島地域	えびの高原・白鳥温泉	（上質な宿泊施設の誘致）							
		・ホテル跡地やピクニック広場の活用を検討（高級ホテルやグランピング施設の誘致など）	環境省・宮崎県・えびの市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		（ツアープログラム開発とガイド育成）							
		・気軽に登れるトレッキングルートや四季折々の火口湖景観、貴重な野生動植物、温泉地獄や天然のサウナ、食、神話などの文化等を活かしたツアープログラム開発	環境省・宮崎県・えびの市	実施中			← ―	―	― →
		・火口湖での水上アクティビティの開発を検討・実証（スタンドアップパドルボート、カヌー、水遊び等）	環境省・宮崎県・えびの市	実施中		← ―	―	―	― →
		・長距離の登山コースやロングトレイルの開発を検討	鹿児島県観光連盟	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		・~~新燃岳周辺の~~ガイド付き限定利用を検討	環境省	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・公園外でのアウトドアアクティビティーとの連携を強化	えびの市	実施中		← ―	―	―	― →
		・登山利用者の車両運搬（登山口～下山口）サービスの検討	霧島部会構成員	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		（まちなみ景観の整備）							
		・展望確保やノカイドウ保全のための抜き伐りの実施	環境省	実施中		← ―	―	―	― →
		・県道えびの高原小田線に加久藤カルデラを一望できる展望駐車場を白鳥温泉上湯付近に整備し、展望確保のための通景伐採を実施	宮崎県・えびの市	実施済み		← ― →			
		・古くからの温泉街（京町温泉等）の景観改善~~（老朽化した施設の建替え）~~の検討	えびの市	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		（利用環境の整備）							
		・えびのエコミュージアムセンター、えびの高原キャンプ村、白鳥温泉上湯及び白鳥温泉下湯のWi-Fi整備・国際化対応の強化を実施	環境省・えびの市	実施済み		← ― →			
		・池めぐり周回コースや登山道の整備を実施	宮崎県	実施中		← ―	― →		
		・キャンプ村、白鳥温泉の施設を外国人観光客、高齢者や車いす利用者にとっても~~が~~利用しやすいようにユニバーサルデザイン観点等から改修~~し~~するとともに、魅力ある温泉滞在プランの策定を検討	環境省・えびの市	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・県道えびの高原小田線の末永地区において大型車の離合困難箇所を段階的に整備	宮崎県	実施中	← ―	―	―	―	― →
		・火山ガスの立入り禁止柵など安全施設の適切な管理や、多言語による迅速な火山活動状況の情報提供	環境省・宮崎県・えびの市	実施中	← ―	―	―	―	― →
		・観光案内の核となる「道の駅」における観光案内や施設の充実、他の観光地との連携~~について検討~~	えびの市	実施中	← ―	―	―	―	― →
		・えびの園地において効果的な土地活用を推進するとともに、~~を~~外国人観光客が利用しやすいように改修を実施	環境省・えびの市	実施予定				← ―	― →
		・宮崎側からの二次アクセスの充実（路線バス~~や~~定期観光バスの誘致~~、国産高級車を使用したタクシーの導入等~~）を検討	環境省・九州運輸局・宮崎県・えびの市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		・えびのアウトドアビジターセンターを拠点としたアクティビティを実施	えびの市	実施中			← ―	―	― →
		・2018年12月現在、通行止めとなっている県道小林えびの高原牧園線の硫黄山周辺について、硫黄山の火山活動を注視しながら、交通開放に向けて検討	宮崎県	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
	高千穂河原エリア	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
		・高千穂河原ビジターセンターにおけるツアーデスクの設置、登山用品等の物販、研修室等の整備を検討	鹿児島県・霧島市	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・魅力ある登山ルートの整備を行い、登山競技会場としての誘致を検討	鹿児島県・霧島市	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・トレッキングコースとともに、ウォーキングコースである森林セラピーロードやオルレコースなど、多様なプログラムを併用し、温泉とマッチングさせた健康的プログラムの開発とプロモーションを実施	霧島市	実施中	← ―	―	―	―	― →
		・丸尾・霧島温泉郷のホテル等において、周辺利用のコンシェルジュ機能の設置について検討	霧島市・民間事業者	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		（利用環境の整備）							
		・防災や火山博物館機能を備えたビジターセンターの整備・改修を検討	鹿児島県	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・新燃岳の噴火以降、閉鎖している野営場について、民間活用によるグランピング施設の導入の可能性も含めて検討	鹿児島県	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・噴火に伴う規制範囲内で登山できるルートの整備を検討	環境省・霧島部会構成員	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・各登山道における利用環境の向上（携帯トイレに関する案内やトイレブースの設置、登山口の駐車場整備等）を検討	霧島部会構成員	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・霧島山や桜島等が眺望できる展望所の設置を検討	霧島部会構成員	検討中			← - - -	- - -	- - - →
		・広域の案内マップの作成	霧島部会構成員	実施予定				← ―	― →
		・高千穂峰登山をする外国人旅行者向けのセルフガイド機器を導入	霧島市	実施済み	← ―	― →			
		・周辺でアウトドアが楽しめる宿泊施設の整備について検討	民間事業者	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		・外国人観光客に対応した温泉施設の整備等について検討	民間事業者	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		・年間約750万人が訪れる霧島神宮周辺の開発により、滞在型観光と周辺への波及効果を高める取組の検討	霧島部会構成員	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		・霧島神水峡遊歩道の延長及び再整備について検討	霧島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →

		・大浪池に休憩所を整備	環境省	実施中			←	—	→

ビューポイント		実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
					2016	2017	2018	2019	2020
霧島地域	夷守台・生駒高原	（上質な宿泊施設の誘致）							
		・上質な宿泊施設の誘致活動を実施	小林市	実施中		→	→	→	→
		（ツアープログラム開発とガイド育成）							
		・雄大な自然や美しい夜空、四季折々の花を活かしたキャンプや散策プログラムの開発	小林市、指定管理者	実施中	←	→	→	→	→
		・大幡山、大幡池、夷守岳や巨樹の森を巡るトレッキングツアーやエコツアーの開発	小林市、指定管理者	実施中	←	→	→	→	→
		・森の中を走るクロスカントリーコースやテニスコート等を活かした大自然の中でのスポーツプログラム開発や国際大会の誘致を検討	小林市、指定管理者	検討中	←	- - →	- - →	- - →	- - →
		・小林の湧水（清流）や蛍、渓流魚やキャビア等を活かしたツアープログラムの開発を検討	小林市	検討中	←	- - →	- - →	- - →	- - →
		（利用環境の整備）							
		・ひなもり台県民ふれあいの森の利用施設の老朽化に伴う改修を実施（木製遊具やウッドデッキなど）	宮崎県、小林市	実施予定				←	→
		・九州唯一の4つ星オートキャンプ場である夷守台や生駒高原への案内看板の充実を検討	小林市	検討中		← - - →			
		・夷守岳や大幡山への登山口の整備を実施検討（駐車場、案内板、トイレ、登山口までのアクセス道）	宮崎県、小林市	実施中			←	→	→
	御池・高千穂峰	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
		・登山と神話をミックスさせたツアープログラムの開発	高原町	実施中		←	→	→	→
		・野鳥の森や巨樹、高濃度の炭酸温泉等の地域資源を活かしたツアープログラムプログラムの開発	高原町	実施中		←	→	→	→
		・周辺の主要観光地点を結ぶシャトルバスの運行を検討	高原町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・御池を活用した水上アクティビティプログラムの開発を検討（スタンドアップパドルボート、水上ボート、カヌー、ウェイ[illegible]）	高原町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		（利用環境の整備）							
		・九州自然歩道の御池周回コースの歩道のユニバーサルデザイン化、新規周回ルートの整備を実施検討	宮崎県	実施中		←	→	→	→
		・御池キャンプ村の改修、アクティビティ施設の整備（ボルダリングなど）	高原町	実施中		←	→	→	→
		・皇子港園地への進入路の改良、駐車場整備を実施し、廃屋の撤去、カフェ等の誘致に取り組むを検討	高原町	実施中		←	→	→	→
		・皇子原公園にビジターセンターの設置を検討	高原町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・高千穂峰の天孫降臨コース登山口（第五砂防ダム）に展望所の設置を検討	高原町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・高千穂峰山頂避難小屋横の改修及び利活用方法の検討	高原町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
	栗野岳	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
		・外国人観光客を対象としたエコツアーの開発について検討	湧水町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・外国語に堪能な地元ガイドの養成を検討	湧水町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		（利用環境の整備）							
		・栗野岳レクリエーション村の施設整備（トイレ、駐車場、オートキャンプ等）を検討	湧水町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・八幡地獄散策道の整備を実施検討	鹿児島県・湧水町	実施中			←	→	→
		・栗野岳登山道の新規ルート整備を検討	湧水町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・霧島アートの森との連携について検討	湧水町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →
		・トイレなどのユニバーサルデザイン化、指導標の多言語化について検討	湧水町	検討中		← - - →	- - →	- - →	- - →

ビューポイント			実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
						2016	2017	2018	2019	2020
桜島・錦江湾奥地域	桜島		（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・桜島でしか体験できない、天然温泉堀り、桜島火山体感ツアー、火山溶岩ミニトレッキング、桜島ナイトツアーを含む「桜島火山体験」プログラムなど既存メニューの外国人観光客への対応や磨き上げについて検討	鹿児島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・ダイナミックな桜島の魅力を体験できるオープンバスを運行	鹿児島市	実施済み			←	———	——— →
			（利用環境の整備）							
			・桜島ビジターセンターの案内板の多言語化を図るとともに、展示内容を外国人観光客が利用できる体験型展示へリニューアルを検討	鹿児島県	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・溶岩なぎさ遊歩道の再整備のについて検討	鹿児島県	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・黒神町溶岩河原、ビュースポットの駐車場整備について検討	鹿児島市	検討終了		← - - →			
			・古里地区桜島島内におけるフットパス等について検討	鹿児島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・有村展望所付近の大型バス用駐車場等の整備について検討	鹿児島市	実施済み		←——→			
			・新桜島港フェリーターミナルの開設に伴い、多言語対応可能なコンシェルジュデスクや魅力的なカフェを設置	鹿児島市	実施済み	←———	———	———	———	———→
			・フェリーターミナルや船内でのデジタルサイネージを設置	鹿児島市	実施済み	←———	———	———	———	———→
			（二次交通の確保）							
			・桜島の自然や成り立ち等を満喫できるような、島内の施設等を周遊するバス（桜島一周）運行を検討	鹿児島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
	主要展望地		・優れた展望地の再整備や設定について検討	環境省・鹿児島県・鹿児島市・姶良市・霧島市・垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		重富海岸	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・自然の干潟を活かした体験ツアー・プログラムの設定	姶良市・民間事業者	実施中		←———	———	———	———→
			・外国語に堪能な地元ガイドの養成を検討	姶良市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			（利用環境の整備）							
			・指導標の多言語化、音声ガイドによる環境整備について検討	環境省・姶良市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・大型バスに対応した駐車場の整備	鹿児島県・姶良市	実施中		←———	———	———	
			・重富海岸までの誘導標識の設置やWi-Fi環境の整備を実施について検討	鹿児島県・姶良市	実施中		←———	———	———	———→
			・重富海岸自然ふれあい館の展示改修・国際化対応を強化	環境省	実施中			←———	———	———→
		高峠	（利用環境の整備）							
			・現状ルートの改修や新ルートの開設など登山道の整備について検討（園内ウォーキングルートに自動カート導入及びカートに合わせた道路拡大等）	垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・展望所など園内建物の再整備を検討	垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・眺望の支障となる樹木の伐採を検討	垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・観光案内板等の多言語化やWi-Fi環境の整備について検討	垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・オルレ初心者等を対象としたプチオルレコース（九州オルレ）の掲載について検討	垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・鹿児島県アジア太平洋農村研修センターとの連携について検討	垂水市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		仙巌園	（利用環境の整備）							
			・園内からの眺望時の支障となる電線等の地中化を検討	民間事業者	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		若尊鼻	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・「たぎり」のカヤック体験観察における外国人観光客への対応について検討	霧島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・若尊鼻遊歩道の活用と黒酢関連施設との連携について検討	霧島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			（利用環境の整備）							
			・若尊鼻遊歩道の未整備区間を整備を検討	霧島市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →

ビューポイント			実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
						2016	2017	2018	2019	2020
指宿・佐多地域	指宿エリア	（指宿エリア内の連携）								
			・水と緑を感じることができるサイクリング・ウォーキングロードの整備（指宿～池田湖～開聞岳等を結ぶルート）を検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・唐船峡周辺等との周遊ルートの整備について検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・周回道路の検討	鹿児島県・指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		指宿集団施設地区	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・ガイド育成及びガイドツアーの造成	環境省・指宿市	実施中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・マリンスポーツ等体験型観光プログラムの充実を検討	環境省・指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			（利用環境の整備）							
			・ガイド詰所やカヤック等の保管庫、案内拠点・休憩施設としての施設整備を検討	環境省	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・知林ヶ島の砂州入口までのスロープ化（遊歩道）の延長、遊歩道のボードウォーク化、案内板の整備、砂浜用車いす（ランディーズ）の貸出しによるバリアフリー対応について検討	環境省・指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・指宿園地、野営場を外国人観光客が利用しやすいように改修	環境省	実施予定				← ———	——— →
			・指宿園地・野営場再整備（老朽化対策、ユニバーサルデザイン・国際化対応等）	環境省	実施予定				← ———	——— →
		開聞岳	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・体験型観光の充実について検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			（利用環境の整備）							
			・登山道の見晴らしのよい箇所においてベンチ等の休憩施設の整備や通景伐採を検討	環境省	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・周回道路を活用した活性化を検討	環境省・鹿児島県・指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		池田湖	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・体験・滞在型商品の造成について検討（ナイトイベント等）	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・水上アクティビティの充実に取り組む	指宿市・民間事業者	実施中	← ———	———	———	———	——— →
			（利用環境の整備）							
			・廃屋等の撤去について検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・観光客の写真撮影スポットにおける護岸の整備について検討	鹿児島県・指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・オープンカフェや土産物を備えた施設をの整備について検討	鹿児島県・指宿市	実施中		← ———	———	———	——— →
			・オオウナギ、池田湖の生態系等の展示施設の整備について検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・湖面を渡るそよ風、水とふれあう環境整備（桟橋の整備）について検討	鹿児島県・指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		長崎鼻	（利用環境の整備）							
			・駐車場から竜宮神社、灯台までのスロープ化によるバリアフリー対応の検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
			・竜宮伝説にちなんだ観光開発を検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		鰻池	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・地元ガイドやコンシェルジュの育成	指宿市	実施中		← ———	———	———	——— →
			・スメを活用したガイドツアーを実施	指宿市	実施中		← ———	———	———	——— →
			（利用環境の整備）							
			・観光客及び地元住民の交流拠点や集落内道路、駐車場を整備	鹿児島県・指宿市	実施中		← ———	———	——— →	
			・地熱やスメを活用した観光開発を検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →
		伏目海岸	（利用環境の整備）							
			・塩田跡地及び噴気の活用を検討	指宿市	検討中		← - - -	- - -	- - -	- - - →

ビューポイント			実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
						2016	2017	2018	2019	2020
指宿・佐多地域	佐多エリア	佐多岬	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・ガイド付きで入れる区域（佐多岬灯台周辺）を設定し、ガイドの養成を検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			（地域一体となった取組）							
			・自転車競技の盛んな大隅半島とサイクルシティ（南さつま市）と連携したサイクルロードの設定について検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			・佐多岬と雄川の滝を結ぶ観光ルートを設定	南大隅町	実施中		←―――	―――	―――	―――→
			（公園区域外の連携）							
			~~・佐多岬と南大隅町の重要観光地である「雄川の滝」などを結ぶ観光ルートの設定を検討~~	~~南大隅町~~						
			・佐多岬と近接する大隅南部県立自然公園などを結ぶ観光ルートの設定を検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			（利用環境の整備）							
			・佐多岬線ロードの整備（ウェルカムアーケード、線形改良、駐車場の整備等）	鹿児島県・南大隅町	実施済み	←―――	―――			
			・佐多岬線ロード終点に観光案内所を整備	鹿児島県・南大隅町	実施済み	←―――	―――			
			・佐多岬から大泊地区間におけるポケットパーク等の展望スペースの景観阻害木の除去について検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			・イベント及び地産来消に向けた施設整備等について検討（佐多岬マラソン及びシーカヤック等のマリンスポーツ）	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			・観光客や地元住民交流拠点の整備の検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			・佐多岬園地整備（展望台、園路、広場）	環境省	実施中	←―――	―――	―――		
			・観光案内所や展望台におけるWi-Fi環境の整備、カフェスペース等の設置	環境省・鹿児島県・南大隅町	実施中		←―――	―――	―――	―――→
			・駐車場利用料を導入し、トイレ、観光案内所等の施設の維持管理やサービス向上、環境保全につながるような「持続的な利用と保全」の仕組みの検討	南大隅町	検討中			←－－－	－－－	－－－→
			・多言語に対応した観光案内板や施設等看板~~の~~を設置~~を検討~~	環境省・南大隅町	実施中		←―――	―――	―――	―――→
			・佐多岬線ロードの入口にあたる大泊地区に魅力的な野営場の整備、宿泊施設やレストランの誘致	南大隅町	実施中			←―――	―――	―――→
		雄川の滝	（ツアープログラム開発とガイド育成）							
			・ガイドの養成を検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			（地域一体となった取組）							
			・佐多岬と雄川の滝を結ぶ観光ルートを設定	南大隅町	実施中		←―――	―――	―――	―――→
			（公園区域外の連携）							
			・雄川の滝と近接する大隅南部県立自然公園などを結ぶ観光ルートの設定を検討	南大隅町	検討中		←－－－	－－－	－－－	－－－→
			（利用環境の整備）							
			・駐車場、トイレ、遊歩道を整備	鹿児島県・南大隅町	実施中	←―――	―――	―――	―――	―――→
			・民間事業者と連携して遊歩道入口に魅力的なカフェ・売店を設置	南大隅町・民間事業者	実施済み		←―――	―――		
			・多言語に対応した観光案内板や施設等看板の設置の検討	鹿児島県・南大隅町	検討中				←－－－	－－－→
			・アクセス道の混雑緩和や待ち時間の発生回避のための仕組みを検討	南大隅町	検討中			←－－－	－－－	－－－→
			・駐車場利用料を導入し、トイレ・遊歩道等の施設の維持管理やサービス向上、環境保全につながるような「持続的な利用と保全」の仕組みを検討	南大隅町	検討中			←－－－	－－－	－－－→

	実施する事項	検討主体/実施主体	進捗状況	検討・実施予定時期（年度）				
				2016	2017	2018	2019	2020
地域一体	地域一体となった取組							
	・九州自然歩道、九州オルレ、フットパスなど、遊歩道関係の連絡会議と連携し、ゆっくり歩いて楽しむプログラムを開発	各構成員	実施中		←	—	—	→
	・桜島・錦江湾ジオパーク、霧島ジオパーク、環霧島会議、錦江湾奥会議等の取組と連携した施設整備・利用環境の改善	各構成員	実施中		←	—	—	→
	・民泊、農泊、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム、ガストロノミーツーリズム等、各種ツーリズムと具体的な連携	各構成員	実施中		←	—	—	→
	利用環境の整備							
	・外国人観光客が気軽に買い物等ができるよう観光案内施設や宿泊施設、土産物屋等で、免税の実施やキャッシュレス～クレジットカード決済可能な設備の充実を検討	各構成員	検討中		← - -	- -	- -	- - →
	・国立公園外の主要な交通拠点・交通結節点と国立公園内を結ぶ二次交通アクセスの確保を図るためとともに、滞在型コンテンツの造成、誘客・プロモーションの促進に一体的に取り組む	各構成員	実施中		←	—	—	→
	地域住民等への働きかけ							
	・新規国際線~~LCC~~就航を目指す際に重要となるアウトバウンド増を達成するため、地域住民へのパスポートの取得推進や助成、海外での修学旅行実施~~を~~の推進~~について検討~~	各構成員	実施中		←	—	—	→
	・地域一体となった効果的なプロモーションを実施するため、地域で開催される各種イベントにおいて、霧島錦江湾国立公園の魅力や取組を周知	各構成員	実施中		←	—	—	→
	企業・民間事業者との連携							
	・国立公園オフィシャルパートナー企業のほか、公園事業者や地域の民間事業者と連携し、具体的な事業を実施	各構成員	実施中		←	—	—	→
	環境教育の推進							
	・国立公園の保護と利用（親しみ方）について学び、後世に繋ぐ教育環境づくりや小中校生の英語力強化対策について検討	各構成員	検討中		← - -	- -	- -	- - →

参考資料１

霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクトに関するこれまでの経緯

2016 年 3 月 30 日　「明日の日本を支える観光ビジョン」策定

首相官邸が指導のもと、観光先進国となるべく政府全体でビジョンを策定。訪日外国人旅行者数に関する新たな目標として、2020 年に約２倍となる 4,000 万人を目指す。国立公園は、10 本の柱の一つに位置づけ「国立公園」を世界水準の「ナショナルパーク」へとする目標を掲げる。「国立公園満喫プロジェクト」として、「国立公園ステップアッププログラム 2020」を策定し、訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施することとされる。

5 月 23 日　第 1 回有識者会議（環境省）
6 月 27 日　第 2 回有識者会議（環境省）
7 月 25 日　第 3 回有識者会議（環境省）
＊国内 8 箇所の国立公園をモデルとして選定、
霧島錦江湾国立公園が選ばれる
9 月 8 日　平成 28 年度第 1 回霧島錦江湾地域協議会
9 月 27 日　国立公園満喫プロジェクト事務局会議
10 月 6 日　国立公園満喫プロジェクトに係る環境省ヒアリング
10 月 11 日　国立公園満喫プロジェクト事務局会議
10 月 18 日　桜島・錦江湾奥地域部会開催
10 月 26 日　霧島地域部会開催
10 月 28 日　指宿・佐多地域部会開催
11 月 16 日　国立公園満喫プロジェクト事務局会議
11 月 22 日　平成 28 年度第 2 回霧島錦江湾地域協議会
11 月 28 日　デービット・アトキンソン委員現地視察（30 日まで）
12 月 12 日　霧島、桜島・錦江湾奥、指宿・佐多地域部会の開催
12 月 14 日　国立公園満喫プロジェクト事務局会議
12 月 21 日　平成 28 年度第 3 回霧島錦江湾地域協議会
12 月 27 日　環境省にステップアッププログラム 2020 を提出
＊霧島錦江湾国立公園ステップアッププログラム 2020 策定
2017 年 1 月 24 日　国立公園ステップアッププログラム 2020 の公表（8 公園）
2 月 9 日　第 4 回有識者会議（環境省）
3 月 22 日　国立公園満喫プロジェクト事務局会議
5 月 12 日　第 5 回有識者会議（環境省）
5 月 15 日　国立公園満喫プロジェクト事務局会議
8 月 7 日　第 6 回有識者会議（環境省）
8 月 31 日　平成 29 年度第 1 回霧島錦江湾地域協議会
霧島錦江湾地域協議会担当者会議

参考資料１

10 月 6 日	霧島錦江湾地域協議会担当者会議
12 月 21 日	霧島錦江湾地域協議会担当者会議
	国立公園満喫プロジェクト事務局会議
2018 年 3 月 12 日	第 7 回有識者会議（環境省）
4 月 20 日	国立公園満喫プロジェクト事務局会議
6 月 14 日	有識者（江崎貴久委員）視察（17 日まで）
6 月 21 日	霧島地域部会
6 月 22 日	桜島・錦江湾奥地域部会／指宿・佐多地域部会合同部会
	＊霧島錦江湾国立公園中間評価（自己評価）とりまとめ
6 月 29 日	第 8 回有識者会議（環境省）
7 月 30 日	満喫プロジェクト中間評価（公表）
8 月 7 日	第 9 回有識者会議（環境省）
9 月 3 日	満喫プロジェクト今後の進め方（公表）
11 月 26 日	国立公園満喫プロジェクト事務局会議
2019 年 1 月 30 日	平成 30 年度第 1 回霧島錦江湾地域協議会
	＊霧島錦江湾国立公園ステップアッププログラム 2020 の改訂

霧島錦江湾国立公園

National Parks of Japan

霧島錦江湾国立公園のシンボルである桜島は、今でも噴煙を上げ雄大な景観をたたえています。本州から離れた本土最南端の地を旅すると、火山活動が活発な山々は地元の人々にとっても身近な存在であるとわかると共に、大自然の美しさを体感することができます。
様々な地形の火山を有する霧島地域も同様に、自然のエネルギーを感じることができます。
時に静かに、時に噴煙を上げながら、四季折々の美しい景色を見せてくれます。

霧島錦江湾国立公園
交通アクセス

羽田空港		博多駅	
	飛行機 約100分		新幹線 約90分
鹿児島空港		鹿児島中央駅	

アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。
詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。

お問い合わせ窓口

各事業者に直接お問い合わせください

G 霧島錦江湾国立公園

G01. 桜島の海辺の秘湯でマイ足湯「天然温泉掘り」

FIT GROUP

今も噴煙を上げ続ける活火山・桜島の恩恵は、人の暮らしと密接に結びついています。その一つが温泉。ここでは、海岸を少し掘って自分だけの足湯を作って楽しむ珍しい体験ができます。マイ足湯で温まりながら、桜島の溶岩を眺め、波の音を聞きながらリラックス。桜島のマグマの力と恵みの両方を実感できます。

時期：通年／**所要**：120分／**料金**：大人（15歳以上）・小人5,400円（６～ 14歳）・幼児無料（0 ～ 5歳）※１名様参加時は年齢区分に関わらず10,800円　団体割引あり
問合：NPO法人桜島ミュージアム／**電話**：099-245-2550
URL：www.sakurajima.gr.jp/

G02. 本土最南端「佐多岬」「雄川の滝」を巡る周遊観光バス

FIT GROUP

バスで楽々、根占港発着で景勝地を周遊するプラン。佐多岬に完成したばかりの「佐多岬展望台」から見渡す360度の大パノラマはまさに圧巻！天気のよい日は種子島や屋久島を望めます。また、「西郷どん」のオープニングに登場する新たに国立公園に編入された雄川の滝のエメラルドグリーンの滝壺は必見。伏流水が染み出す幾何学模様の岩肌が印象的です。

時期：通年／**所要**：360分／**料金**：大人2,500円（13歳以上）・小人1,250円（６～ 12歳）・幼児無料（５歳以下）
問合：㈱二川交通/㈲佐多交通/南大隅町観光課
電話：0994-24-2763/0994-26-0128/0994-24-3115
URL：www.town.minamiosumi.lg.jp/kanko/index.html

G03. 指宿天然砂むし温泉

FIT GROUP

指宿温泉は、豊富な湧出量で古くから親しまれてきました。中でも天然砂むし温泉は世界的に珍しく、砂の状態が良ければ波打ち際で波音を聞きながら入浴できます。砂浜を少し掘れば80～90℃の熱い湯がしみ出てくるほどで、まさに地球の息吹を実感できます。雨天や満潮時など、屋外の全天候型（屋根付き）の砂むし場で安心して楽しめます。（砂むし入浴後にシャワーで砂を落とし、お風呂に入る行程になっており、全て料金に含まれます。）最近では、砂むし入浴のデトックス効果が注目されています。

時期：通年／**所要**：60分程度／**料金**：大人1,080円（13歳以上）・小人（２～ 12歳）590円※１歳以下は体験不可※多言語表示・音声ガイド有り
問合：砂むし会館 砂楽／**電話**：0993-23-3900
URL：sa-raku.sakura.ne.jp

G04. 和服で参拝、ぶらり霧島神宮。

FIT GROUP

霧島の象徴である「霧島神宮」の朱塗りの鳥居をくぐり、参道を抜けて格調高い社殿を和服で参拝してみませんか。日本の文化を深く感じられることでしょう。女性用は着物約90着、袴３着、男性用は袴８着からお選びいただけます。豪華絢爛な社殿と和服のショットは、きっとSNS映えするはずです。

時期：通年／**料金**：大人3,000円※男性のみの体験不可、着付受付：9:30 ～ 14:00
※多言語音声ガイド有り（有料）、英語・中国語・韓国語チラシ有り
問合：霧島市観光案内所／**電語**：0995-57-1588
URL：burarikirishima.com/

G05. 霧島連山を空中散歩！「遊覧飛行 霧島連山コース」

FIT GROUP

天孫降臨の地・霊峰高千穂峰、最高峰の韓国岳など霧島連山の見どころを空から一周する約50分の飛行。上から見る新燃岳の噴火口や大浪池は圧巻です。登山やトレッキングを楽しんだ後に、自分が歩いた場所を上空から見て霧島連山全体との位置関係を確認する楽しみも。夜のフライトでは、赤く光る火口が見られるかも。

時期：通年／**所要**：40 ～ 50分／**料金**：セスナ50分59,400円（乗客最大３名）・アイランダー 45分126,360円（乗客最大９名）・ショートコース（40分）セスナ47,520円・アイランダー 112,320円※１機貸切制 ※ナイトフライト追加料金有
問合：新日本航空㈱／**電話**：0995-58-2211
URL：www.newj.co.jp/

G06. 霧島錦江湾国立公園唯一最大の干潟を専門家とめぐる「生き物観察ツアー」

FIT GROUP

錦江湾は、世界でも珍しい「カルデラの海」で海底地形のため、浅瀬はできにくく、干潟は貴重な場所です。絶滅危惧の生物など、普段は見ることのできない珍しい生き物たちをすぐ近くで観察できます。全国でも「干潟」や「干潟の生き物」について楽しみながら学べる場所は少なく、ここでしかできない体験ができます。

時期：通年／**所要**：130分／**料金**：大人～幼児１名につき2,500円※通訳手配は１ヵ月以上前の事前予約要（有料:50,000円）
問合：（特非）くすの木自然館／**電話**：0995-67-6042
URL：kusunokishizenkan.com/

G07. 世界有数の活火山！ 火山と人の共生を知る、溶岩ミニトレッキング

FIT GROUP JA

「桜島」は今なお噴煙を上げる活火山であり、60万人の生活圏が隣接している非常に稀な場所。火山と人の共生がここにはあります。溶岩流の景観や日常的な噴火は、生きている地球の証。非日常のロケーションを存分に味わえるミニトレッキングにガイドがご案内。開放的な足湯で、火山活動の恵みに癒やされて。

時期：通年／**所要**：30分／**料金**：大人1,000円（16歳以上）・小人500円（6～15歳）・乳幼児無料（0～5歳）※外国人：大人2,000円・小人1,000円※通訳同伴の場合、対応可（事前にご相談ください）
問合：桜島ジオサルク／**電話**：099-811-3598
URL：www.facebook.com/sakurajima.geo369

G08. 地球を感じる 「桜島火山ガイドウォーク」

FIT GROUP EN II

桜島ビジターセンターでの解説30分、溶岩なぎさ遊歩道の散策30分、計１時間のお手軽ガイドツアー。今なお噴煙をあげる桜島の成り立ち、現在の活動状況、桜島の自然、火山と共生した暮らしを学び、溶岩原のゴツゴツした溶岩や植生遷移など自然の力を体感。見ているだけではわからない景色の裏側にあるストーリーに迫ります。

時期：通年／**所要**：60分／**料金**：大人2,160円（15歳以上）・小人1,080円（6～14歳）・幼児無料（0～5歳）※１名様参加時は年齢区分に関わらず3,240円　団体割引あり
問合：NPO法人桜島ミュージアム／**電話**：099-245-2550
URL：www.sakurajima.gr.jp/

G09. 活火山桜島の恵み 「桜島大根の収穫体験と桜島大根尽くしランチ」

FIT GROUP JA

今なお噴火と噴煙の激しい活火山の麓で住み暮らす、桜島の暮らしを様々な角度から体感。錦江湾から採れた海藻を肥料とする循環型農法で、ギネスに認められた桜島大根と桜島小みかんを海藻オーガニックで育てています。桜島大根や桜島小みかんを収穫体験し、地元の農産物を使った農家のお昼ご飯を、錦江湾を眺めながら味わいます。

時期：12月～２月※（収穫）桜島小みかん：12月頃、桜島大根：１月～２月頃。（ランチ）通年／**所要**：60分／**料金**：（収穫体験）大人・小人（６歳以上）1,500円・幼児無料（5歳以下）、（ランチ）1,200円※通訳同伴の場合、対応可（事前にご相談ください）
問合：café しらはま／**電話**：090-5935-1921

G10. 桜島を空中散歩！ 「遊覧飛行 桜島コース」

FIT GROUP JA

噴煙立ち上る鹿児島のシンボル「桜島」の上空を飛行機で一周し、約30分間のスカイビューを堪能します。下から眺めることも、歩いて近づくこともできない火口ですが、飛行機から近くで見る昭和火口は、大迫力！桜島のトレッキングやアクティビティを楽しんだ後に、自分が歩いた場所を上空から確認する楽しみも。

時期：通年／**所要**：30分／**料金**：セスナ35,640円（乗客最大３名）・アイランダー 84,240円（乗客最大９名）※１機貸切制※ナイトフライト追加料金有
問合：新日本航空㈱／**電話**：0995-58-2211
URL：www.newj.co.jp/

G11. 歴史的秘湯「鰻温泉」での まちあるきとスメ料理体験

FIT GROUP EN II

鰻温泉は、日本の原風景ともいえる昔ながらの町並みが残り、至るところから湧き出る湯気で温泉情緒たっぷり。鰻温泉名物「スメ」とは、天然の温泉の蒸気を利用したカマドのこと。地元ガイドとともに、この地ならではの暮らしの知恵である「スメ」を活用した郷土料理を体験。まちあるきでは、西郷隆盛が逗留した時の逸話などもお話しします。

時期：通年／**所要**：45分／**料金**：大人500円（15歳以上）・小人300円（７～14歳）・幼児無料（６歳以下）
問合：（公社）指宿市観光協会／**電話**：0993-22-3252
URL：www.ibusuki.or.jp

G12. 九州最大の湖「池田湖カヤック体験 （インストラクター付）」【土日・祝日限定】

FIT GROUP EN III

九州最大の湖〝池田湖〟と薩摩富士と称される〝開聞岳〟を眺めながらのカヤック体験。湖面からしか見ることができない池田湖の秘境へ！風や波の音、鳥のさえずりなど自然の息吹を感じながら、解放感の中でゆったりとした時間をお過ごしください。運がよければ大ウナギが見られるかも。

時期：通年（土・日・祝日のみ実施）／**所要**：60～120分／**料金**：60分　大人（13歳以上）3,000円（１人追加毎2,000円）・小人（６～12歳）2,000円（１人追加毎1,000円）　120分　大人5,000円（１人追加毎4,000円）・小人4,000円（１人追加毎3,000円）
問合：えぶろんはうす池田／**電話**：0993-26-2799
URL：www.apronhouseikeda.com/

G13. 霧島アート牧場・ホーストレッキング

FIT GROUP JA

栗野岳の中腹にある自然豊かなアート牧場で、馬と触れ合いながら癒やされましょう。子どもも楽しめる「ひき馬」、初心者も草原を散歩できる「おためし」、経験者には広大な草原を駆け抜ける迫力満点のコース。60分コースでは、引退馬の放牧地をホーストレッキングできます。天気がよければ錦江湾に浮かぶ桜島の眺望も。

時期：通年／**所要**：30～60分／**料金**：30分コース3,300円・60分コース6,600円※９歳以上対象
問合：（同）アート牧場／**電話**：0995-74-1333
URL：www.kirishimaart.co.jp/

G14. 国立公園の霧島連山の麓に位置した体験牧場 「高千穂牧場手作り体験」

FIT GROUP JA

霧島連山が一望できる高千穂牧場で、牧場の牛乳を使用したバター、アイスクリームやソーセージなどの手作り体験してみませんか？牛舎見学や、動物との触れ合い体験も可能！また、霧島から温泉をひいた足湯に入りながら霧島連山の眺望をお楽しみいただけます。売店やレストランもあります。

時期：通年／**所要**：30分／**料金**：500～1,000円※体験内容により異なります※多言語表示有り（英語）
問合：㈱高千穂牧場／**電話**：0986-33-2102
URL：www.takachiho-bokujou.co.jp/

G15. 霧島周遊観光バス

FIT GROUP JA

交通拠点と観光地を結ぶ滞在型周遊バス。乗り換え不要で、霧島市内の観光地を巡り、国立公園の入口にアプローチできます。座席が90度窓側に回転して国立公園の景観を眺められる九州初導入の車両で、霧島連山や桜島の迫力ある姿を堪能。霧島をテーマにしたラッピングバスも楽しみです。

時期：通年（土・日・祝日のみ運行）／**所要**：240分前後／**料金**：大人1,100円（13歳以上）・小人・幼児550円（12歳以下）※多言語音声ガイド・パンフレット・車内映像有り
問合：商工観光部霧島PR課／**電話**：0995-64-0705
URL：www.city-kirishima.jp

G16. 霧島連山を満喫する オートキャンプ

FIT GROUP JA

霧島連山の絶景を間近に、登山や星空観察など自然を楽しむ拠点として最適な場所にあるキャンプ場。ウォーキングコースや子供用マウンテンバイクもあります。バーベキューサイトを常備。キャビン、トレーラーハウス、キャンピングカー、オートキャンプなど種類豊富な宿泊施設が特徴です。

時期：通年／**料金**：１棟又は１サイトにつき6,000～14,800円※宿泊場所により異なります
問合：（公社）宮崎県森林林業協会／**電話**：0984-23-8100
URL：www.hinamori.jp/

G17. 名勝仙巌園で 「甲冑武者写真」体験！

FIT GROUP EN ZH IV

歴史や戦国時代に興味のある方へ！雄大な桜島と錦江湾を一度に眺められる大名庭園で、本格的な甲冑を着装して、写真撮影を行い、思い出に残しませんか？「敵中突破」で知られる島津義弘（大人用・子供用）と、真田幸村（子供用）の鎧をご用意。撮影した写真は、１枚を現像し、他の写真データとあわせて後日郵送でお届けします。

時期：通年／**所要**：45分／**料金**：大人9,000円（15歳以上）・小人4,500円（６～15歳）
問合：仙巌園／**電話**：099-247-1551
URL：www.senganen.jp/

モデルコース

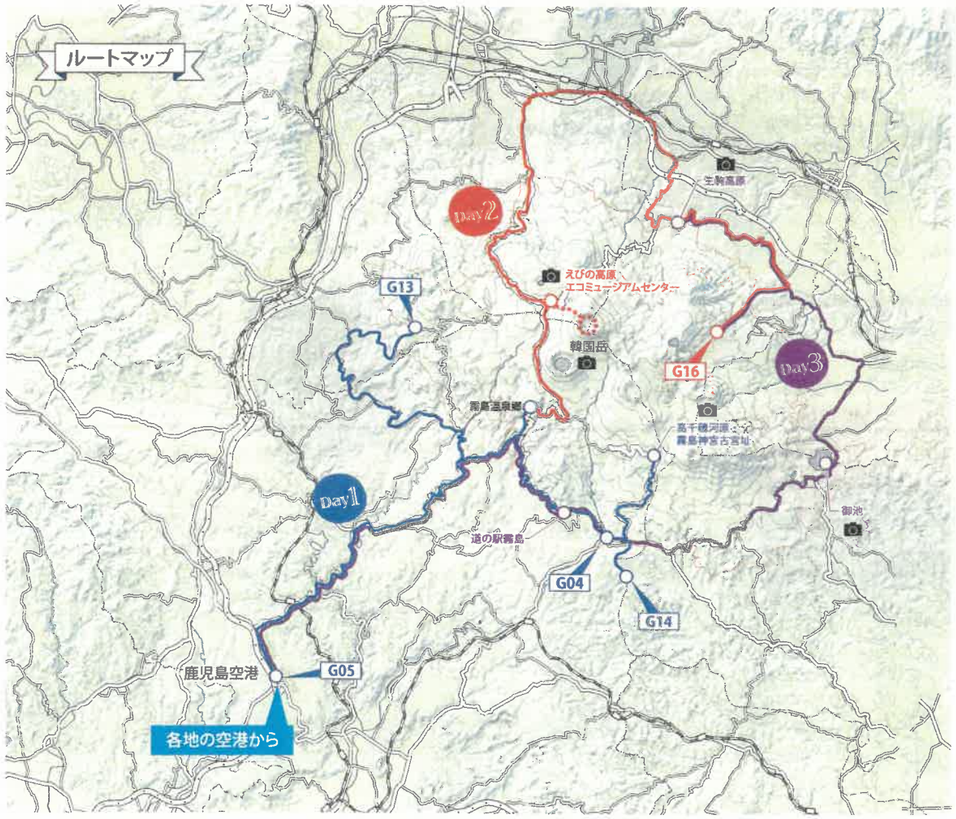
G.m1 MODEL COURSE

霧島の美しい火山景観と神話・文化を体感する旅コース

2泊3日

ポイント

- 我が国最初の国立公園・霧島の活きた火山を体感しながら、登山・トレッキングなどのアクティビティを楽しむ！
- 自然だけでなく、霧島に息づく神話・文化・暮らしを感じる！
- 最後は空から霧島上空を遊覧旅！



Day1

各地の空港

↓

10:15am 鹿児島空港

↓ レンタカー 40min

10:45am

G04 「和服で参拝、ぶらり霧島神宮」体験プログラム 90min

↓ レンタカー 10min

12:25pm

G14 高千穂牧場手作り体験 30min

↓ レンタカー 10min

2:15pm

高千穂河原・霧島神宮古宮址

霧島神宮の古宮址はパワースポット。

天孫降臨の地としての霊峰、高千穂峰の神秘を感じる空間です。

↓ レンタカー 45min

3:30pm

G13 霧島アート牧場・ホーストレッキング体験

↓ レンタカー 35min

5:15pm

霧島温泉郷の宿泊施設

個性的な温泉旅館・ホテルでゆったり入浴を。温泉街の散策も楽しい！

Day2

8:00am

霧島温泉郷の宿泊施設

↓ レンタカー 30min

8:30am

えびの高原エコミュージアムセンター

9:00am

韓国岳登山

霧島山の火山群、未だ活動を続ける新燃岳の火口を望み、火山活動のエネルギーを肌で感じます。

1:30pm

えびの高原

火山活動とともに形成された四季折々の植生を観察（ノカイドウ・ミヤマキリシマ・アカマツ）。火口湖を望む美しい景観に感動することでしょう。

↓ レンタカー 70min

4:30pm

G16 霧島連山を満喫するオートキャンプ

Day3

G16 霧島連山を満喫するオートキャンプ

↓ レンタカー 15min

9:30am

生駒高原

霧島の麓、生駒高原でコスモス畑や霧島連山の景観を楽しめます。

↓ レンタカー 20min

11:00am

御池

全国から愛好家が訪れる珍しい野鳥の生息地で、美しい湖畔や野鳥の森で観察を楽しむことができます。

↓ レンタカー 30min

12:30pm

道の駅霧島「神話の里公園」でランチ

公園から望む高千穂峰、錦江湾に浮かぶ桜島の遠景は感動的！

↓ レンタカー 30min

2:00pm

G05 遊覧飛行「霧島コース」体験 40~50min

↓ レンタカー

4:00pm

鹿児島空港

↓

各地の空港へ

モデルコース

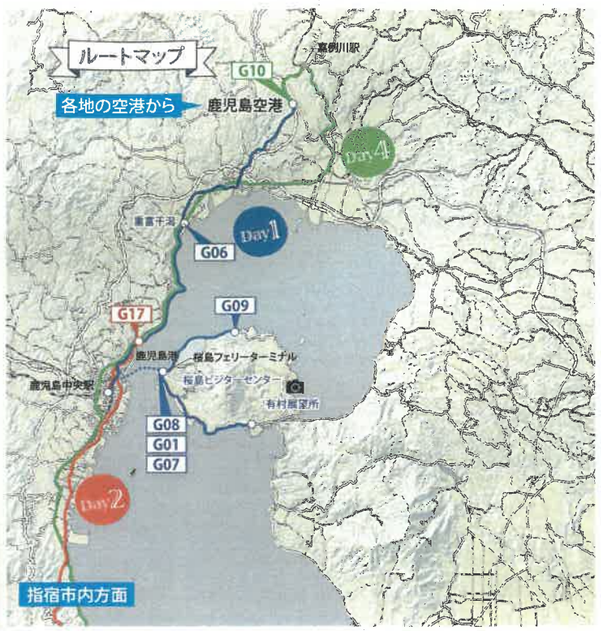
G.m2 MODEL COURSE

桜島・錦江湾の絶景と本土最南端を巡る旅コース

3泊4日

ポイント

- 雄大な活火山・桜島と我が国随一のダイナミックな海域カルデラ・錦江湾で、絶景とその恵みを堪能！
- 指宿砂蒸し温泉と本土最南端・佐多岬で、究極のリラックス旅を体感！
- 船・周遊バス・観光列車で移動も楽しむ！
- 最後は空から桜島上空を遊覧旅！



Day1

各地の空港

↓

10:40am

鹿児島空港

↓ レンタカー 30min

11:10am

G06 重富干潟「生き物観察ツアー」 120min

↓ レンタカー 30min

12:30pm

鹿児島港・桜島行きフェリーターミナル

↓ フェリー 15min

12:45pm

桜島港フェリーターミナル

桜島まで15分の船旅(ミニクルーズ)を楽しもう！

↓ レンタカー 15min

1:00pm

G09 桜島大根の収穫体験と桜島大根尽くしランチ 60min

Day2

↓ レンタカー 15min

2:15pm

G08 桜島火山ガイドウォーク 60min

G01 天然温泉掘り 120min

G07 溶岩ミニトレッキング

↓ レンタカー

4:10pm

有村展望所

桜島南岳の直下の溶岩原が広がる景観は圧巻です。

↓ レンタカー・フェリー 60min

5:50pm

鹿児島市内の宿泊施設

Day2

8:15am

鹿児島市内の宿泊施設

↓ レンタカー 15min

8:30am

G17 名勝仙巌園で「甲冑武者写真」体験 45min

↓ レンタカー 90min

11:30am

知林ヶ島

3～10月の干潮時のみ現れる砂州を歩いて知林ヶ島に渡れます。

↓ レンタカー 30min

2:00pm

G12 池田湖カヤック体験 60min

↓ レンタカー 30min

4:00pm

G11 鰻池まちあるきとスメ料理体験 45min

↓ レンタカー 30min

5:10pm

G03 指宿天然砂むし温泉 60min

↓ レンタカー 10min

6:30pm

指宿温泉の宿泊施設

Day3

8:50am

指宿温泉の宿泊施設

↓ レンタカー 10min

9:00am

指宿港

↓ 高速船 20min

9:30am

G02 本土最南端「佐多岬」「雄川の滝」を巡る周遊観光バス 360min

↓ 高速船 20min

錦江湾の南端を高速船で横断。20分の船旅を楽しめます。開聞岳にしずむ夕日は絶景。

5:30pm

指宿港

↓ レンタカー 10min

5:40pm

指宿温泉の宿泊施設

Day4

10:00am

指宿温泉の宿泊施設

錦江湾沿いに北上。対岸の大隅半島と桜島を眺めながらの移動が楽しい！

↓ タクシー 10min

10:10am

指宿駅

↓ 観光列車「指宿のたまて箱」 47min

11:48am

鹿児島中央駅

↓ 観光列車「はやとの風」 35min

木のぬくもりを感じられるノスタルジックな観光列車

2:14pm

嘉例川駅

↓ タクシー 10min

2:30pm

G10 桜島を空中散歩！「遊覧飛行 桜島コース」 30min

↓ タクシー 60min

3:40pm

鹿児島空港

↓

各地の空港へ

霧島連山周辺における二次交通環境改善実証事業の概要

参考資料3

名　　称：KIRISHIMA EXPERIENCE BUS
事業主体：九州運輸局
協　　力：環境省、鹿児島県、宮崎県、霧島市、えびの市、交通事業者など
運 行 日：2018年10～12月の土日を中心とした20日間（1日2便）
ダ イ ヤ：鹿児島空港～道の駅えびの間を往復
　　1便：9:00鹿児島空港発→15:30着
　　2便：10:30鹿児島空港発→16:40着
利　　用：無料、予約不要、当日先着順
対　　象：主に外国人観光客

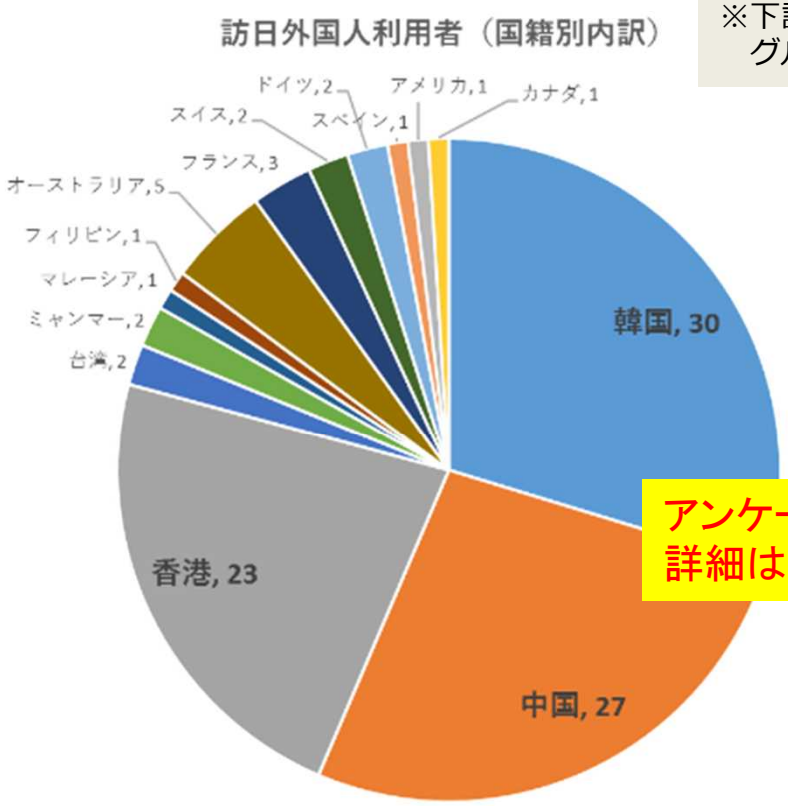
＜運行ルート＞

そ の 他：
- 通訳ガイドが添乗し、外国人観光客への案内、地域の景観・魅力を解説
- 沿線の事業者が体験プログラムを企画
- 沿線の観光施設等における特典を提供
- 利用者にはアンケートを実施

プロモーション：
- 日英韓中（簡体・繁体）の５言語のチラシ・ポスター・Webサイトを作成
- 韓国・台湾・香港・中国の発地旅行会社にPR
- 各関連機関のSNS・広報媒体で発信
- 交通結節点（空港・主要駅・港など）でのポスター掲示・チラシ配布など
- 九州内の大学や日本語学校などにチラシ配布

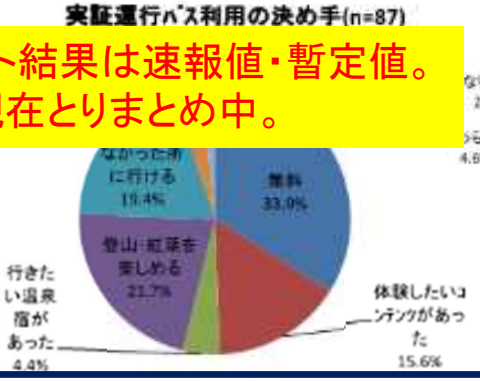
霧島連山周辺における二次交通環境改善実証事業の結果（速報）

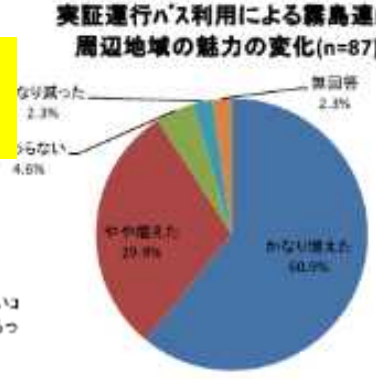
- 利用者数はのべ314名（158個人）、平均15.7人/日（7.8人/便）
- 20日間運行し、のべ300名ほどの外国人が利用。利用者の国籍は16カ国に及ぶ。
- 在日の留学生のグループ利用や日本人利用者を除いた訪日観光客でとらえると、欧米豪の比率は16%と高かった。（霧島錦江湾国立公園の欧米豪利用者は2～4%）
- 鹿児島空港及びJR嘉例川駅からの乗車が全体の7割を占め、宮崎県側からの入域はほとんどなかった。域内での過ごし方はえびの高原や大浪池でのトレッキングが多くを占めた。

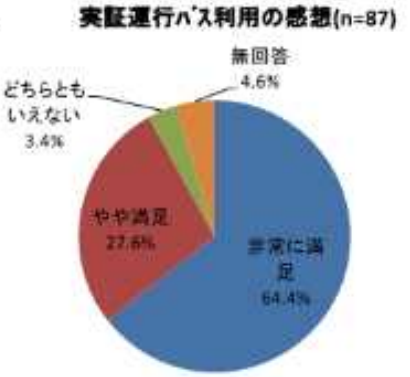


※下記のグラフにおいては、在日の留学生のグループ利用や日本人利用者を除いています。

アンケート結果は速報値・暫定値。
詳細は現在とりまとめ中。







- 日本人観光客等による利用も含めて、長期的なPRを実施すれば一定の利用が見込まれるか。
- 一方で、霧島地域での宿泊者は全体の26.4%、有料の体験プログラムの利用者は全体の5%程度。実証バスによる域内の宿泊者や有料体験コンテンツの利用者の増加は小さく、経済効果は限定的であり、既存の交通路線やほかの交通手段との組み合わせを含め、今後の課題。

参考資料4

国立公園満喫プロジェクト等推進事業

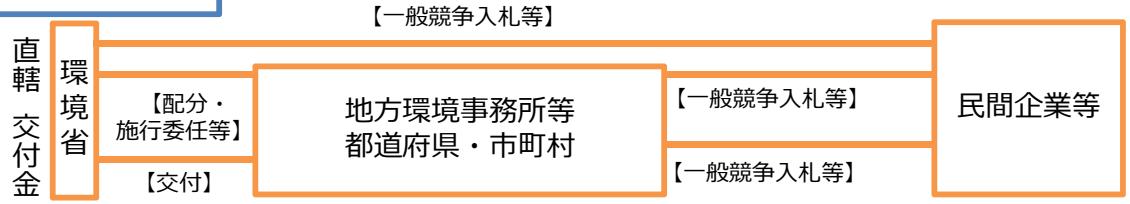
2019年度予算（案）
16,253百万円（ 11,700百万円）

自然環境局　総務課・自然環境計画課・
国立公園課・国立公園利用推進室・
野生生物課・自然環境整備課

背景・目的

平成28年3月30日に観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、『「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは８箇所の国立公園で、「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、2020年までに、外国人国立公園利用者数を年間490万人から1000万人に増やすことを目指す』ことが求められている。これまでに、国立公園の統一的ブランドイメージを広く海外に発信するためのプロモーション、ツアーコンテンツの発掘・磨き上げ、利用者数以外の質に関するプロジェクトの評価指標の開発等を実施。

事業スキーム



事業概要

事業目的・概要等

先行的、集中的に取組みを進める８公園を中心に、利用拠点の滞在環境の上質化や多言語解説充実、ビジターセンター等の再整備や機能充実、公園施設の長寿命化対策、宿舎施設の省CO2改修支援等を実施し、国立公園の磨き上げとｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ向けの対応機能の強化を図る。
また、新宿御苑の活用や一括情報サイト構築等による海外への情報発信を強化することで、国立公園の誘客を強化する。

期待される効果

観光ビジョンに掲げられた外国人国立公園利用者数に関する数値目標（2020年までに1000万人に増やす）の達成を目指す。

今後の取組

★国立公園の磨き上げ

－利用拠点の**滞在環境の上質化**

－**野生動物観光**のコンテンツづくり推進
－**多言語解説**の整備・充実
－ビジターセンターのインバウンド対応機能強化とVR等を活用した展示の充実

★新たなプロモーション

－**予約まで一気通貫可能な国立公園一括情報サイト**構築
－**新宿御苑における国立公園の情報発信**強化

地域における誘客力強化

－**地域・事業者と旅行会社・OTA等とのマッチング機会造成**
－マーケティング結果を踏まえたコンテンツの充実等、誘客力**強化支援**
－**自然ガイドの養成**

（★：国際観光旅客税による事業）

基盤的な利用施設の整備

－**登山道・遊歩道**の再整備
－**ビジターセンター**の充実
－**キャンプ場**リニューアル
－**休憩場所**（カフェ、ベンチ等）の整備

ステップアッププログラムの推進

－**利用者負担による保全の仕組みづくり**
－自治体・民間団体等と連携して取組を推進

成果の水平展開

－８公園の成果を全国の国立公園に展開

国立公園を軸とした地方創生

観光消費額の増加

・国立公園を目的地に訪れる外国人観光客が増加

民間投資の喚起

・上質なホテル、カフェ等の進出
・ガイド産業の活性化
・宿舎施設の省CO2化投資促進
・PPP/PFI手法による整備

国立公園の魅力の再発見・再構築

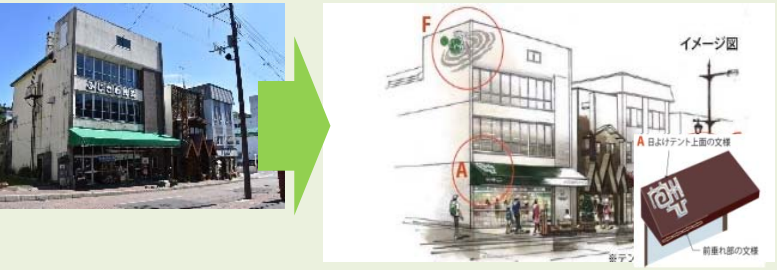
・外国人のみならず日本人も国立公園の魅力を満喫
・地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全に再投資

国立公園のインバウンドに向けた環境整備

①　訪日外国人の満足度を向上させる国立公園の磨き上げ

利用拠点の滞在環境の上質化

廃屋撤去跡地に新たな民間事業を導入(イメージ)



アイヌ文化の魅力を感じられる利用拠点のまちなみ（阿寒摩周国立公園）

・民間商業施設等の導入を前提とした廃屋撤去、文化資産への興味を喚起するまちなみ改善、インバウンド対応等による利用拠点エリアの刷新

多言語解説の整備・充実

・ＩＣＴ等を活用した自然観光資源等の分かりやすい多言語解説の充実

携帯でコードを読み取ると多言語で解説を読み上げるUni-voiceを使用（Wi-Fi環境が不要）

野生動物観光のコンテンツづくり推進

ツキノワグマ（長野）

道東のオオワシ（羅臼／根室）

釧路湿原野生生物保護センター（傷ついたシマフクロウを保護）

オランウータン保護施設（マレーシア）の事例

・全国各地で保護施設の観光客への公開を含むインバウンド野生動物ツアー（ナイトツアーを含む）を造成

ビジターセンターのインバウンド対応機能強化とＶＲ等を活用した展示の充実

・予約機能を備えたツアーデスクにおいて、自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供

・最新デジタル技術を活用し国立公園の理解を深めることにより、国立公園深部の利用を促進

②インバウンドに向けた新たなプロモーション

予約まで一気通貫可能な国立公園一括情報サイト構築

（一括情報サイトのイメージ）
利便性の高いニュージーランド政府観光局ウェブサイト

・JNTOグローバルサイト（約27%が訪日時の情報源として使用）内に、全国の国立公園のモデルルートや体験アクティビティを掲載

新宿御苑における国立公園の情報発信強化

インフォメーションセンター前にデジタルサイネージの設置

日本地図にタブレットをかざすことで、各公園の特徴や絶景を放映

携帯アプリで、新宿御苑内に置かれた全国の国立公園の植物を紹介

・年間250万人の来苑者の約半数が外国人である新宿御苑を、VR等を用いた全国の国立公園の情報発信拠点に刷新

・全国からの植物等が集まる新宿御苑において、自動案内アプリ活用した苑内ツアーを実施